

くしろ エコ・フェア 2024

～大切なちきゅう～

報告集

◆と き：2024年11月17日(日) / 10:00 ～ 16:00

◆ところ：釧路市中央図書館 7F多目的ホール・展示室



[主催] くしろエコ・フェア実行委員会

[共催] 釧路市教育委員会

目 次

実行委員長挨拶.....	1
くしろエコ・フェア 2024 チラシ（表）.....	2
くしろエコ・フェア 2024 チラシ（裏）.....	3
参加団体報告	
バスから釧路の街を考える会.....	4
環境省釧路湿原自然保護官事務所	
釧路湿原自然再生協議会 再生普及行動計画オフィス.....	6
釧路野外教育研究会.....	8
海ねこみなと会.....	10
釧路ガス株式会社.....	12
釧路市動物園ツル担当.....	14
市民フォーラム946.....	16
冒険の杜プロジェクト.....	18
釧路市役所環境保全課.....	20
釧路花くらぶ.....	22
一般社団法人日本自動車連盟（J A F）.....	24
NPO 法人トラストサルン釧路.....	26
釧路工業高等専門学校.....	28
くしろエコ・フェア クイズラリー.....	30
第7回エコポスターコンクール.....	33
来場者アンケート集計.....	43
新聞記事.....	48
鈴木仁さんを偲んで.....	51
協賛企業・団体広告.....	55
事務局業務の流れ.....	59
実行委員会規約.....	60
あとがき.....	61

「くしろエコ・フェア 2024」

くしろエコ・フェア実行委員長 田丸典彦



今年も「くしろエコ・フェア 2024」を開催できましたことに心から感謝申し上げます。会場は昨年と同様に釧路市中央図書館で、環境問題に取り組んでいる国連の SDG s に協賛し、「SDG s、私たちにできること」を副題とし掲げました。参加団体は 14 で、新たに釧路高専、トラストサルン釧路、くしろ花くらぶが展示に参加しました。エコポスターの募集には 36 名の応募があり、昨年より大幅増となりました。来場者は昨年よりやや多くの 250 名余でした。

エコ・フェアの運営は参加団体の任意の拠金と理解ある団体・企業の協賛金によって賄っております。今年は 21 団体・企業の協賛をいただきました。お礼申し上げます。また、昨年と同様に青少年育成協会からの援助もいただきました。協賛金の一部はエコポスターの賞品として使わせていただいております。展示内容・エコポスター、協賛団体・企業については後述の別紙をご覧ください。

「くしろエコ・フェア」は 2007 年に発足しました。2007 年は釧路湿原国立公園指定 20 周年の年で、また、気候変動に関する政府間パネル（IPCC）の第 4 次報告書が出され、CO₂ 等が地球の温暖化に大きく影響していることが示されました。こうした環境に対する社会的関心の高まりの中で、自然環境グループと生活環境グループに釧路市や環境庁等の行政も加わり、さらに近年では民間企業も参加して、地域の環境活動を発表する行事として、継続して行われてきました。

ところで、2007 年のノーベル平和賞は、環境問題関連の IPCC とアメリカのゴア副大統領です。そして、2024 年のノーベル平和賞は、日本原水爆被害者団体協議会（被団協）が受賞しました。いうまでもなく、戦争こそ人類が行う最大の環境破壊行為です。戦争は最も大切な人の命を奪うばかりでなく、止めどなく環境破壊を繰り返します。現在、不幸にも世界の各地で戦争が進行しています。こうした中、日本の被爆者団体がノーベル平和賞を受賞したことに、世界中の平和を願う人々とともにから喜びたいと思います。

環境問題について科学はその存在を指摘することができます。しかし、現実社会で平和や環境問題を解決するのは社会の力です。市民活動は、その社会の力の大切な源の一つであると思います。私たちのささやかな取り組みが、市民活動の支えとなり、地域社会の活力を養う一助となることを願い、また、一刻も早く世界に平和が訪れることを心から祈念してご挨拶いたします。

くしろ エコ・フェア 2024

～SDGsの視点から～

11月17日

10:00～16:00

釧路市中央図書館
7F多目的ホール・展示室

～入場無料～

地域に住む一人ひとりが『くらしと環境』について考え、思いを共有する場として、今年も「くしろエコ・フェア2024」を企画しました。さまざまな活動をしている団体に出会える場でもあるので、興味のある活動を見つけたら、積極的にご縁を結んでみてください！

くしろエコフェア2024は、主に環境分野に関わるSDGs目標をテーマとしたイベントです。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



～今回のテーマ～ SDGsとは

貧困、紛争、気候変動、感染症。人類は、これまでになかったような数多くの課題に直面しています。このままでは、人類が安定してこの世界で暮らし続ける事ができなくなると心配されています。そんな危機から世界中のさまざまな立場の人が話し合い、課題を整理し、解決方法を考え、2030年までに達成すべき具体的な目標を立てました。それが「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals: SDGs)」です。

持続可能とは、何かをし続けられる、ということです。SDGsは、私たちみんなが、ひとつしかないこの地球で暮らし続けられる「持続可能な世界」を実現するために進むべき道を示した、つまり、ナビのようなものです。(SDGsってなんだろう? SDGsクラブ 日本ユニセフ協会より)

2014年 釧路市こども遊学館

2017年 釧路市生涯学習センター

2019年 イオンモール釧路昭和

SDGs ～エコパネル展示～

「SDGs～持続可能な開発目標
全17テーマのうち主に環境分野に関わる
団体の活動をパネルにて紹介します！」

エコポスター コンクール作品展

「SDGs～私たちにできること」をテーマにしたエコポスター作品が勢ぞろい!

★表彰式は13時～

…わくわく…

エコクイズラリー

ブースを回ってクイズに挑戦!!
参加者全員にプレゼントがもらえるよ!
どこかにヒントが隠れているかも!?

★プレゼントは数量限定!!

主催：くしろエコ・フェア実行委員会

共催：釧路市教育委員会

事務局：釧路市民活動センターわっと内（釧路市末広町3丁目1番地）

TEL:0154-22-2232 FAX:0154-22-2234

info@946wat.jp Web: <https://kushirowat.jimdofree.co.jp/>

コンクール受賞者発表
イベントのお知らせは
こちらから



わっとホームページ



くしろエコフェアInstagram



わっとFacebook

～SDGs環境パネル出展ブース～



主に環境分野に関わる目標7、12、13、14、15のほか、それに関連したSDGs目標および環境問題に取り組んでいる団体の活動をパネルにて紹介いたします！



釧路湿原自然再生協議会 再生普及行動計画オフィス

&

環境省釧路湿原自然保護官事務所

湿原とともに暮らす未来のこともたちのために
～釧路湿原を知る、学ぶ、楽しむ「こんな取り組みご存知ですか」～
○釧路湿原とつながる様々な取り組みを紹介します。
・釧路湿原自然再生事業紹介パネル展
・湿原クラフト「湿原のなかまたち」展
・体験教室「つくってみよう！湿原クラフト」

釧路市役所環境保全課

2050年カーボンニュートラル達成をめざして、ゼロカーボンアクションや
エコ活に関する展示

市民フォーラム946

アイヌ民族とSDGsについて考える

JAF(一般社団法人日本自動車連盟)

- ①ECOカードの発行
- ②野生動物との衝突事故防止啓発パネル展示

釧路工業高等専門学校

- ①『パソコンを使っている人の目と健康を守りたい
「姿勢崩れてますよ！まばたき忘れてますよ！
と通知するシステム」』
- ②「くしろのカラマツで製作した椅子」

釧路市中央図書館 環境に関連する本コーナー

バスから釧路の街を考える会

高齢者パワー、バスに乗って、街の活性化を

釧路花くらぶ

釧路花くらぶの活動紹介～
釧路で花のまちづくり～ドライフラワーでアップサイクル
ワークショップ

釧路野外教育研究会

アイヌ民族の大切な野生植物
アイヌ民族の生活・文化にとって重要な2、3の野生植物
の解説パネル現物展示

海ねこみなと会

海ねこみなと会の取り組みについて
天然素材たわしづくりワークショップ

冒険の杜プロジェクト

冒険の杜プロジェクトが、今後自然体験を提供す
るための行動計画と目標についての説明

釧路ガス株式会社

脱炭素・カーボンニュートラル社会に向けた取り組み
省エネ・環境性に優れた機器の紹介・ブルーカーボン
取得に向けた昆布養殖実証試験の進捗紹介

NPO法人トラストサルン釧路

「釧路湿原を未来につなげるナショナルトラスト運動」
釧路湿原と周辺の丘陵地の保護を目的に自然保護
地をつくっています。
活動と経過報告です。

釧路市動物園ツル担当

タンチョウレスキュー展

ご協賛企業・団体

拓北地下開発株式会社
学校法人ほっかいどう学院 くしろせんもんがっこう
株式会社リライアブル
ネイチャーテック釧路株式会社
学校法人緑ヶ岡学園 釧路短期大学
釧路信用組合
独立行政法人国立高等専門学校機構
釧路工業高等専門学校
沢田建設株式会社
大地みらい信用金庫
釧路地方中古自動車販売事業協同組合

岩倉建設株式会社
国立大学法人北海道教育大学釧路校後援会
釧路ガス株式会社
釧路信用金庫
富士塗研工業有限会社
株式会社釧路製作所
株式会社釧路厚生社
コープさっぽろ 釧路地区本部
一般社団法人 日本自動車連盟釧路支部
環境コンサルタント株式会社
株式会社田中組 道東支店

～ご協賛ありがとうございました～

順不同・敬称略

「おでかけパスポート70」利用促進！高齢者のパワーで街の活性化が

「くしろエコフェア」への参加は、今年で2回目の参加になります。今回は、スタートをして5年を超える「おでかけパス70（略称・おでパス）」の利用状況と成果について、



「釧路市地域公共交通活性化協議会」からの報告や「釧路市介護高齢」との意見交換で得た内容を基にバスの会で議論をしたことを掲示して、『市民の足になっている環境に優しい「路線バス」の応援』になればという思いでの参加となりました。

バスに乗る高齢者のパワーが街の活性化を創る

街の活性化の条件の一つに「日々、街にどれだけの人々が動いているのか」をあげることができます。言い換えれば「一人でも多くの人間が街の中で動く」ことが街の活性化に繋がるということです。

具体的には、私たちバスの会が12月12日に行った行事「年忘れツアーinリフレ」で検証してみます。参加者は22名。釧路駅を出発にしていますので単純に片道（自宅周辺のバス停から釧路駅までと駅から山花リフレ）2回、往復で4回バスに乗車します。「おでパス」は1回乗車100円ですから、22名の参加でバス会社に8,800円の運賃が支払われます。

リフレの入浴料金が「おでパス」提示で480円、22名で10,560円。飲食のための貸し室料金が4,400円（4時間）。バスターミナルやリフレフロント前のお土産売り場で物品を購入した方が5～6名程いました。お土産等の購入を除いて23,760円のお金が動きました。バスを増便するわけでもなく、現行ダイヤにある路線バスを利用したイベントです。

そこで、釧路市が2019年6月から、高齢者の社会参加の促進、生きがいくりと健康づくりの推進を目的に実施された「高齢者外出促進バス事業」の要になっている『おでかけパスポート70（70歳以上）』の利用状況と効果について紹介します。

『「おでかけパス」の利用回数について令和5年9月までの月平均が62,344回、令和6年9月までの月平均が61,341回と報告されています。』

① これを利用人数に換算しますと釧路市内1日平均1,000人前後の高齢者（70歳以上）が、「おでパス」持って路線バスに乗り外出をしています。

（“月平均約6万回、1日平均：約2千回”往復を考えると1,000人前後の利用回数）

- ② これを運賃支払いに換算しますと、高齢者（70 歳以上）の「おでパス」利用によるバス運賃支払いは年間 7,300 万円超えになります。

(おでパス利用回数 (月平均) 令和 6 年 61,341 回×100 円=6,134,100 円

“6,134,100×12 ヶ月=73,609,000 円”)

『また、「おでパス」の新規・更新数が 1 年間 10,369 件になっており、新規・負担金 1 件 500 円を乗ずると 5,184,500 円が、「おでパス」利用者から郵便局に支払われています。』

他にも「おでパス」利用による経済財効果はあります。集合するバスターミナル周辺での買い物、施設の利用料金や買い物等々人が動くことによるお金の流通は、必ずあります。

このように、「おでかけパスポート 70」の事業は、乗用車からバスという“エコ”にも、人が動くという街の活性化にも効果をあげはじめています。

しかし、5 年を過ぎても未だに「おでパス」を知らないと言う高齢者の方もいらっしゃいます。

目指そう！高齢者だけで年間運賃収入 1 億円超え。

そのために…

1 ヶ月の「おでパス」利用回数を 85,000 回（24,000 回増）に！

「おでパス」の新規・更新を 15,000 件（5,000 件の上積み）に！



湿原とともに暮らす未来のこどもたちのために ～釧路湿原を知る、学ぶ、楽しむ「こんな取り組みご存知ですか」～

<出展者>

- 釧路湿原自然再生協議会再生普及行動計画オフィス（事務局：環境省釧路自然環境事務所）
- 辻野正（湿原クラフト作家、ワンダグリンド・プロジェクト）

【展示内容】

釧路湿原とつながる様々な取り組みや生き物を紹介

- ・ 釧路湿原自然再生事業紹介パネル
- ・ 釧路湿原自然再生事業地現地見学会ポスター
- ・ 湿原に暮らす生き物樹脂標本
- ・ タンチョウのたまご
- ・ 湿原クラフト「湿原のなかまたち」

【体験コーナー】

- ・ つくってみよう！湿原クラフト～7種のタンチョウ～



■ 釧路湿原自然再生事業紹介パネル

湿原の魅力、湿原からの恵み、湿原の保全の歴史、そして今起きている課題についてパネルで紹介しました。また、現在取り組まれている対策など詳細については、無料配布のガイドブックをご覧ください。

■ 釧路湿原自然再生事業地現地見学会ポスター～市民参加の機会づくり～

地域・市民のみなさんを対象に、楽しみながら再生事業についての理解を深めていただくことを目的として、再生事業地ごとに毎年開催している多様なイベントを紹介し参加を呼びかけました。

■ 湿原に暮らす生き物樹脂標本

アクリル樹脂に封入された植物や昆虫の標本を展示しました。実際に手に取って見て頂くこともでき、「本物だと恐いけど、これなら平気！」「ザリガニのオとメスはどこで見分けるの？」と、興味深く見ていただきました。

■ タンチョウのたまご

本物のタンチョウの卵から作った標本を展示しました。大きさはもちろん、重さも本物と合わせてあり、隣りにあるニワトリの卵と比べて、その大きさ・重さにみなさん驚いていました。またタンチョウの子育ての様子を紹介したクラフト展示と併せてご覧いただくことでこの卵から生まれたヒ

ナが湿原でどのように大きくなっていくのかイメージも掴みやすかったです。



■湿原クラフト「湿原のなかまたち」

以前紹介した「野鳥の子育て」や「北海道の哺乳類の子育て」から“お父さんの育児参加、及び”生き物の群れ、などのクラフト作品を紹介しました。

写真撮影をしてくださる来場者が多数おられました。



■つくってみよう! 湿原クラフト

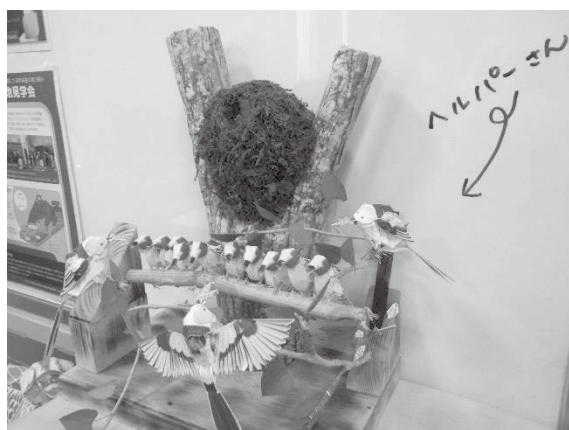
たんちょうシリーズ、舞・飛翔・育み・絆・絆Ⅱ・立姿・求愛の7種類の簡易キットと作成レシピを添えてパッケージにも工夫をして市販タイプに仕上げました。会場で作成を楽しんでいた他、自宅用や贈り物用にも購入いただきました。



■クイズラリー出題

雪の妖精と称されるシマエナガの子育ての特徴について、両親の他に子育てを支援するヘルパーの存在を紹介しました。

※展示の様子が翌日の北海道新聞に掲載されました。



(問題) シマエナガの子育ての特徴は、次のうちどれでしょう?

1. 「お父さんだけ」が子育てする
2. 「お母さんだけ」が子育てする
3. 「お父さんとお母さんのほかに子育てを手伝うヘルパー」が一緒に子育てをする

イオルの植物

～アイヌ民族の生活を支えていた野生植物～

釧路野外教育研究会 田丸典彦



釧路野外教育研究会では昨年に引き続いて、北海道の先住民族であるアイヌの人々の生活を支えていたイオルの植物の実物展示を行いました。イオルとはアイヌ民族が動物を狩り、山菜を採取する場所のことです。それぞれのコタン（集落）ごとに認められ、他のコタンのイオルと重複しないように定められていました。従って、コタンで生活する人々は自らのイオル内の動植物を絶やすことの無いように、採取の方法を具体的に伝えていました。残念ながら、イオルの生態系を維持発展させていたそれらの様々な言い伝えは、イオルの消滅と伝承者の高齢化によりほとんど失われているのが現状のようです。また、北海道には多くの人々が開拓に入りました。本州と違った厳しい自然環境のなかで生活するために、開拓 1 世の人たちは、先住民族のアイヌの人々から、地域で食用となる植物、すなわちイオルの植物を教わり飢えを凌ぎ生き抜いてきたと伝えられています。

今回は、それらのなかから比較的知られている植物の越冬芽を現物展示しました。また、クロユリとニリンソウについては写真で展示しました。



オオウバユリ（トウレブ）

ユリ科の多年草植物。アイヌ民族にとってオオウバユリとギョウジャニンニクは特に大切な食物です。球根を食用としましたが、掘る時期は 6—

7 月上旬です。花のついている株は取らず、花の無い株を掘りました。鱗片を 1 枚ずつはがして、器に入れてつぶし、水を張って澱粉を沈殿させました。オオウバユリの鱗片はもちろんそのままで食べられます。やや口に繊維が残りますが、ゆでたり炒めたりするよりも直接焼いた方が食べやすく、美味しく頂けます。

なお、開拓1世の人たちは秋に採取して煮たり焼いたりして食べたそうです。



ギョウジャニンニク(プクサ、キトビロ)



ヒガンバナ科、ネギ属の多年生植物で、生育が遅い植物です。そのためアイヌの人たちは、同じ山に4年入らない、根茎は残す、3葉は取らないなど地域より様々な決まりがありました。強壮、疲労回復、抗菌等多くの薬効が認められています。乾燥貯蔵して周年使用するために、5月中頃大量に刈り取ります。



コケイラン (イマクコトウ)

ラン科の多年草 地下に数珠状の丸い球根(偽鱗茎)があり、水洗いして生でも食べられますが、煮たり焼いたりして食べます。子供のおやつです。



コウライテンナンショウ (ラウラウ)

サトイモ科テンナンショウ属の有毒植物。秋に雌株は目立った赤い果実をつけます。有毒だがアイヌの人たちは晩秋または春に芋を掘り、中央部の毒が集まった部分を取り除き加熱処理して食べます。美味だそうです。



トリカブト (スルク)

キンポウゲ科の多年草の毒草で、アイヌ民族は矢毒に用いました。秋から春に毒性が強まります。全身猛毒があり、葉が同じキンポウゲ科で山菜のニリンソウと似ていることから誤食による死亡事故がしばしば発生しています。釧路市内の公園にも自生して、普通に見られます。小樽銭函が最も毒性の強い自生地として知られています。

今回のエコフェアの感想

柴田浩子

今回、私自身2年ぶりにエコフェアに参加させていただきました。久しぶりに参加し、新しい参加者の方がたくさんいて、とても嬉しく思いました！色々な団体の方とお話する時間もあり、とても楽しい時間でした。

図書館でエコフェアを開催するようになって、来てくださる方たちが展示物をじっくり見てくださったり、質問をしてくださったり、興味をもっていただいているのを感じました。図書館で開催して本当に良かったと思います。

また参加したいと改めて思いました！ありがとうございました！

海ねこみなと会

近年、「今まで経験したことのないような災害」という言葉をよく耳にするようになりました。みなさんも環境の変化を身近に感じているのではないのでしょうか。私たち海ねこみなと会は、「環境のために何か行動したい」と思っている普通の市民が集まり、その輪を広げる活動を3年間続けています。

今回のエコフェアでは、活動報告を掲示し、シルクたわしのワークショップや環境アンケートを取りました。



活動報告で特に注目していただいたのは、「知っていますか？私たちの出すゴミの量」一日に出しているゴミの量（平均）、釧路は1143グラム、浜中や中標津は980グラム、釧路は少し多いのかと思っていたら全国平均880グラムより、はるかに多い事です。それについて、「どうして釧路は多いのでしょうか？」「一人暮らしの方が多から？」「コンポストが普及していないから？」など様々な感想をいただきました。ゴミのことから環境問題を考えるきっかけになれば嬉しく思います。

シルクたわしのワークショップでは、環境に優しい素材、絹でたわしを作る方法をお伝えし、ブースに立ち寄っていただいた市民の方達と環境のことについても色々お話することができました。「環境に配慮することが余りできていなかったから、これからは出来る事をしていきたい」「アクリルたわしを使っていたけれど、原料は石油でマイクロプラスチックを流す可能性があるなら別の方法を試したい」などの声がありました。

環境アンケートも多くの方に回答していただきました。ご協力いただいたアンケートの回答はこちらのURL⇒<https://x.gd/GyiSG> からご覧いただけます



環境問題や各自が取り組んでいることについて長時間お話して下さる方も多く、環境問題に対しての市民の関心の高さを感じさせてもらいました。

海ねこみなと会のスタッフも、会を始めた3年前まではあまり行動出来ていませんでしたが、少しの力でも集まれば大きな力になると思い活動を継続しています。



(エコフェアにお持ちした参考図書はこの2冊です)

只今、海ねこフレンズ（気軽に取り組める情報を受け取る無料会員）募集中です。

HP <https://www.uminekominato.crayonsite.info>

Facebook <https://www.facebook.com/uminekominato>

インスタグラム uminekominato@gmail.com

問い合わせメールアドレス uminekominato@gmail.com

くしろエコ・フェア 2024

釧路ガス株式会社営業部

くしろエコ・フェア 2024 に参加させていただきました。

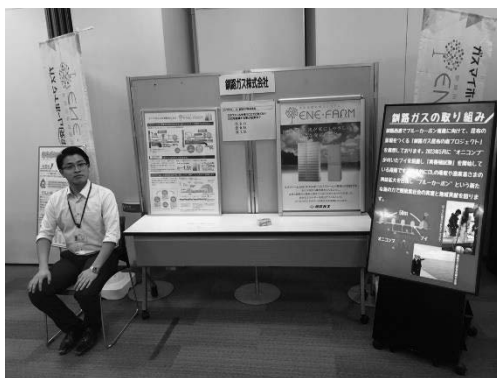
釧路ガスでは 2022 年から取り組んでいる『釧路ガス昆布の森』構想の紹介と家庭用燃料電池『エネファーム』についての展示パネルを用意しました。

『エネファーム』は 2009 年より市場販売され、2024 年時点で全国の累計販売台数が 50 万台を突破しました。

釧路エリアでも 2016 年よりエネファームの販売を開始し、現在 30 台が市内に設置されております。

従来のボイラーよりも高効率で省エネ、省 CO₂ で環境貢献が高い商品となっており、設置に際しては国、釧路市さまから補助金を頂くこともできます。

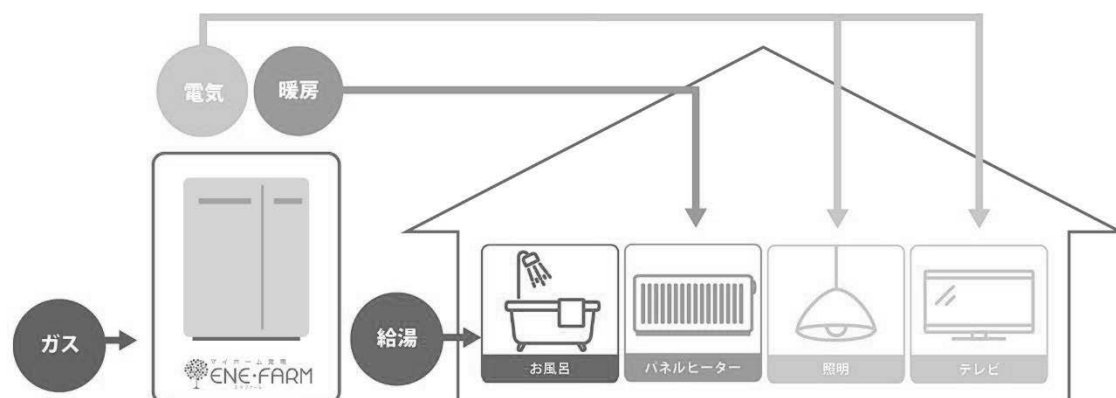
将来に向けてより一層この『エネファーム』を普及させることや太陽光発電と組み合わせることによってより、脱炭素に向けた取り組みを加速させることを現在、計画中です。今回のような貴重な機会を通じて、少しでもこの商品に対しての周知を図れればと思っております。



※釧路ガスショールームにエネファーム実機稼働ならびに展示中

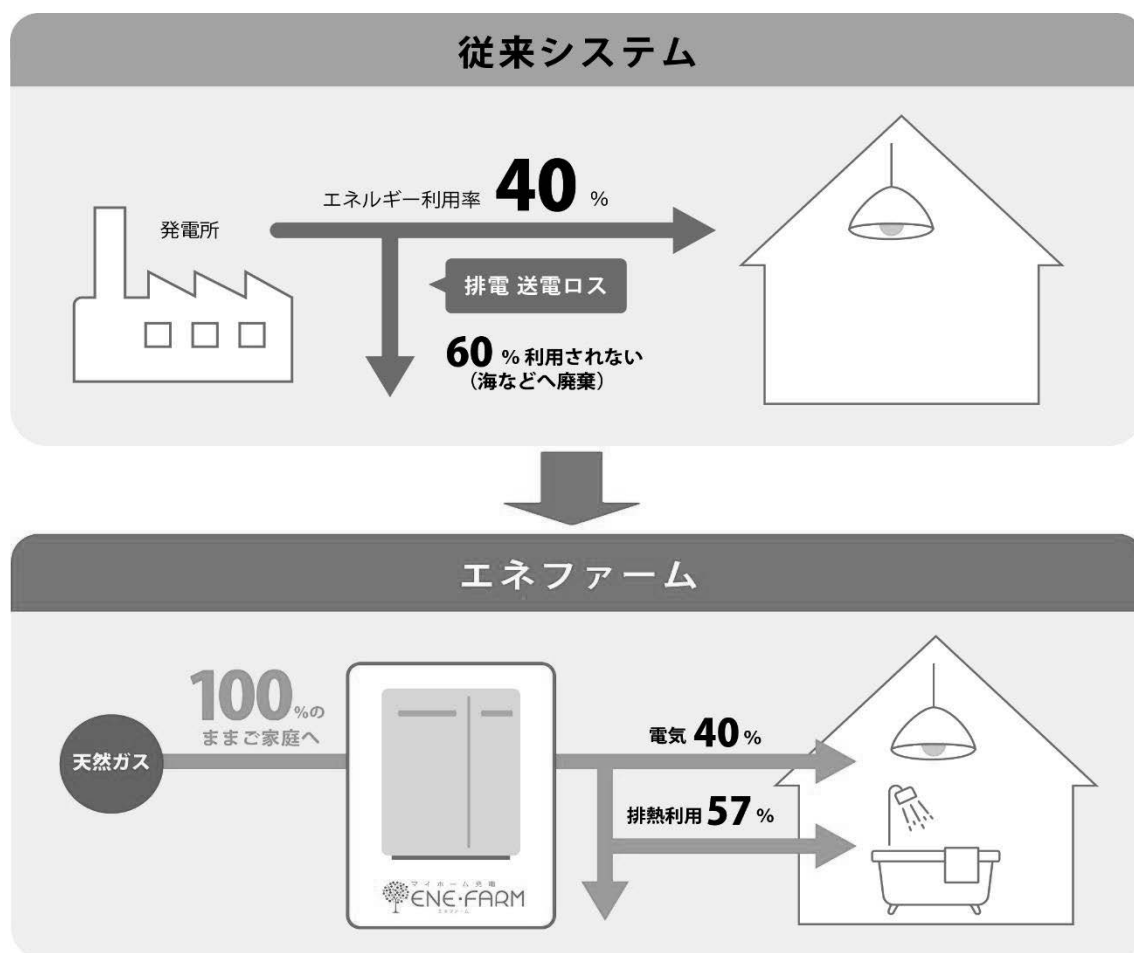
【そもそもエネファームとは！？】

簡単に言えば、天然ガスから取り出した水素と空気中の酸素を化学反応させて発電し、発電時の排熱を給湯に利用するシステムです。



【電気を使用する場所で発電するので送電ロスがない！】

エネファームなら廃熱もお湯に変換してエネルギーの無駄がありません。





「タンチョウ・レスキューの現場から」

釧路市動物園ツル担当



<2024年の展示の様子>



タンチョウ・レスキュー展（パネル展）
*今年も 21 枚の全てのパネルを展示しました！



2018 年日本野生動物医学会大会発表ポスター（左）
「タンチョウにおける嘴関連症例の考察」
2024 年 32th SEAZA Conference 2024
発表ポスター（右）
「From the sight of rescued Red-crowned Crane」



来場者に配布した
「タンチョウ 横断注意道路標識ミニ マグネ ット」
釧路市動物園のタンチョウ関連イベントに参加して
ゲットしてね！

? 釧路市動物園でのタンチョウの保護活動



レスキュー(治療)

保護されたタンチョウの治療を行っています。



域外保全

大規模な飼育下繁殖群を維持しています。

教育・普及

調査・研究

死因調査

死亡して発見された野生タンチョウの死因調査(病理解剖)を実施しています。



!! タンチョウツイッターもやってます。ぜひフォローしてね。



<https://twitter.com/CraneKushiroZoo>

**まいにちタンチョウ・レスキュー
@釧路市動物園【公式】**

普段は絶対に見られない、タンチョウの治療の様子や義足で暮らすタンチョウ「モモ」たちの様子など、タンチョウまみれのマニアックな毎日を動画や写真で紹介しています。

タンチョウの交通事故を防こう！



タンチョウの交通事故がとて増えています。

道路にいるタンチョウは、車が近づいても、飛んで逃げません！
道路にいるタンチョウを見つけたら、車のスピードを落としてね！！

道路にいるカラスのイメージで運転しているとぶつかってしまうんだ！！

みんながこれを知っていれば、タンチョウの交通事故は防げるかも！

普及啓発のため、園内にも「タンチョウ横断注意」道路標識を設置しています。

アイヌ民族と SDGs について考える

市民フォーラム 946

市民フォーラム 946 は、これまで有害物、原発、公害、温暖化問題等について提示してきましたが、エコ・フェア 2024 では、初めてアイヌ民族について SDGs の視点からの考察を展示させていただきました。北海道においてさえ、アイヌ民族に対する理解度はまだまだ十分であるとは言えないのが現状ですが、こうした状況を少しずつでも着実に改善していければ幸いです。

以下、エコフェア当日に展示したものの中から「抜粋」して紹介します。



アイヌ史教育の必要性

■日本政府が内国的植民地政策に乗り出したのが、1869 年からの北海道「開拓」でした。明治期の歴史は、まさにアイヌ民族から文化を奪い、生業を奪い、土地・資源・領域を奪っていく歴史でした。

■こうした歴史認識をもつことで、アイヌ民族への理解が深まり、依然として後を絶たないアイヌ民族への差別を根絶することにつながっていきます。そして、アイヌ文化の復興のみに重点を置いたわが国の先住民族政策の課題に気づくことができます。アイヌ民族を主人公にしたアイヌ史教育が重要であり、昨今のアイヌ文化を中心とした教育からの脱却を図っていく必要があります。



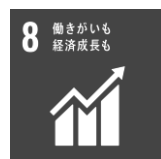
アイヌにとって、 「水」はカムイ（神）

■アイヌ民族にとって、「水」はワッカウシ・カムイと呼ばれる神(カムイ)です。その水が流れる川は丸木舟(チブ)で移動するための「道」でもありました。また、夏にはマス、秋にはサケが川をさかのぼってくるので、「カムイ・チェブ」（神が降りてくれた魚）としていただき、厳しい冬を乗り切るための保存食にもしてきました。・・・また、現代でも水道水の多くは川から取られるなど、わたしたちの暮らしを大きく支えています。

■祖先が伝えてきた伝承を「アイヌ神謡集」としてまとめた知里幸恵さんは、「悪魔の子が川にクル

ミの毒気を流したためにサケが引き返してしまい、それを見た神さまの子が悪魔の子を退治し清流を取り戻した」（小オキキリカムイが自ら歌った謡「この砂 赤い 赤い」）という神謡を取り上げています。「川を汚してはいけない」という教訓がそこには込められています。

■ところが、明治政府は「アイヌ民族はサケを捕ってはならない」と命じました。それまでサケの恵みによって生活を支えられていたアイヌ民族は、サケを獲ることを禁止されると、次第に集落(コタン)での暮らしが成り立たなくなり、困窮を極め、中には餓死してしまう事例もありました。



民族的アイデンティティ を大切にした職業の確立

■民族的アイデンティティと職業は、互いに影響しあっています。それまで活発な民族活動をしていた人も、民族と関わりを持たない職業に就いたために、民族活動から遠ざかってしまう人が少なくありません。

■アイヌの若者たちが民族に関わる仕事をしたいと思った時、彼らを支えるシステムが必要です。民族に関わる事を仕事に従事できる機会や職場を整備することが必要不可欠で、その職業で生計がたてられる環境づくりが急がれます。



差別的なアイヌ政策 からの脱却

■近代のアイヌ政策としてよく知られるのが、1899 年(明治 32 年)に制定された「北海道旧

土人保護法」です。アイヌ民族に 1 戸あたり最大 1 万 5 千坪(約 5ha)の土地を与えて農耕を強いる政策でした。しかし、給付された土地の多くは農耕に適さない土地であったため、経済的な正効果は全く不十分で、アイヌ民族の経済的な困難はその後も続きました。

■2019 年に施行された「アイヌ施策推進法」では、「アイヌ民族を差別したり、権利利益を侵害する行為をしてはならない」としていますが、罰則規定がなく、ネット、SNS 等で後を絶たないアイヌ民族への誹謗中傷などのヘイトスピーチ等に対する措置は脆弱で、より実効性のある施策が急務となっています。

■ 2007 年、国連は 先住民族の権利を保障する「先住民族の権利に関する国連宣言」を採択しました。この宣言は、先住民族に対し、自分たちのことを自分たちで決めるという自己決定権に基づく民族独自の政治、経済、社会、文化的な発展を認めていますが、日本政府による現在のアイヌ政策はこうした権利はほとんど認められていません。



アイヌ民族の自然観

■『カント オロワ ヤク サク ノ アランケプ シネプ カ イサム』～和語では「天から役目なしに降ろされたものは一つもない」という意味です。・・・アイヌ民族の自然資源の利用について、例えば山菜の採集をするにしても、いただいて消費するのは、森林が産み育んだ利子分だけ、といった言い方・考え方とともに、自然(カムイ)を敬い、人間(アイヌ)のくらしとの調和を大切にしていることを解説する言葉としてよく引用されます。

■1994 年、アイヌ民族から初めて国会議員になった菅野茂さんの言葉には、アイヌ民族の自然観、倫理観が明確に表現されています。

「現在世界中で行われている自然破壊の様をアイヌである私はひどく憂慮しています。巷で「自然保護」が叫ばれていますが、アイヌ語の中に「自然保護」という言葉はありません。自然、つまり海でも山でも、川でも鳥や獣に至るまで、もしも口があったなら『人間其よ、自然保護などという大それた言葉を慎しめ。我々自然は保護される事を望むのではなしに、人間であるあなた達がぜいたくをしない限りにおいて、紙にする木材でも、薪でも、家を建てる材料でも供給できることにな

っているのだ』と自然の神々はおっしゃるでありましょう。自然は常に巡っており、生きもの同士がその摂理の中でそれぞれの生命を全うするはすが、人間共の勝手なエゴや欲望によって、・・・奪い去っています。」



世界標準の

先住民族政策へ

■台湾の蔡英文前総統は 2016 年 8 月 1 日に台湾先住民族に対して謝罪しましたが、次のように述べています。「台湾というこの土地は、400 年前にすでに住んでいた人がいました。これらの人々はもともと自らの生活を営み、自らの言語、文化、習俗、生活領域を持っていました。そして、彼らの同意なくして、この土地に別のエスニック・グループがやってきたのです。・・・後から来た人々が、最初にいたグループの人たちから、すべてを奪ったのです。」

■これまでに、ノルウェー、スウェーデン、ニュージーランド、オーストラリア、カナダ、台湾などの国や地域が先住民族に対して謝罪しています。日本は長い間、アイヌ民族を先住民族として認めませんでしたが、2008 年 6 月 6 日、「アイヌ民族を先住民族として認めることを求める国会決議」が国会で採択され、それを踏まえて、政府がようやくアイヌ民族を日本の先住民族として認めました。しかし、政府による謝罪は未だに行われていません。・・・国家として正式に謝罪をし、世界標準の先住民族政策へと歩みを進めていくことが大切です。



展示の説明を読む参加者

(文責 市民フォーラム946 長根)

冒険の杜プロジェクト

今年も自然体験事業の活動が出来なかったため、身近にある自然体験として、白樺の木を置いて年輪を数えてもらうことにしました。何年この木は生きているのだろうかという数えることで、樹木はそれほど早く成長しないものだと感じてほしいと思ったからです。年輪とは何なのかと分からない小学生もいたので、展示した意はあったと思っています。

植物についても、来場者の皆さんに感じてほしいので、指先ほどのサボテンを展示して、冒険の杜プロジェクト事業に寄付をいただいた人に差し上げました。ちょうど小さなサボテンがほしかったと言っていた大学生が、もらってってくれました。このサボテンは20年ものの子株です。サボテンは子孫を残すために子株を作ります、動物だけでなく植物とは？と考える人が増えたら→自然環境とは何だろうにつながっていきます。

パネルの写真でも説明している、厚岸町の尾幌と釧路町の仙鳳趾にまたがる金子ファームで、冒険の杜プロジェクトの野外体験事業を予定していますが、このファームで、栽培している椎茸の菌床を展示しました。木のおがくずに菌を混ぜたものですが、初めて見る人もいて指でつついたりする人が数人いました、これも体験のひとつです。椎茸が生えている菌床があったので、ほしい人に差し上げました。釧路キノコの会のブース展示が無くなってさみしい気がします。





木の年輪は30年でした。コースターにするとか、木に顔を描いても面白い。金子ファームより提供された羊の本物の毛（茶色）と小枝で、小さな羊の置物を作ってみました。小学生くらいの時に親子で小物を作ると良い体験になると思います、今後の体験事業に組み入れたらと思います。



今回も展示出来たことを大変ありがたく思いました。他のブースで物を作るという体験型ブースが数件あり大変参考になりました。

やはり、表現方法が違うそれぞれのブースを見るのは勉強になります。参加団体の皆さんありがとうございました。

くしろエコ・フェア2024への参加報告

釧路市役所環境保全課

今年のエコ・フェアは、主に環境分野に関わる SDGs 目標をテーマとしていたことから釧路市環境保全課では、13 番「気候変動に具体的な対策を」に関わるパネル展示や体験コーナーの出展をしました。

●展示内容について



パネル展示については、脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動「デコ活」を紹介するパネルと、脱炭素に繋がる取り組み「デコ活アクション」のうちのひとつ「サステナブルファッション」について紹介するパネルの2枚を展示しました。

クイズラリーでは、選択肢の中からどれが「デコ活アクション」として正しいかを出題し、パネルを見て「デコ活」に関心を持っていただきながら、脱炭素に繋がる取り組みを知っていただく機会を作ることができました。

そのほか、省資源につながる取組として、図書館で捨てられる絵本のカバーを再利用したエコバッグ作り体験も実施しました。



●デコ活（脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動）について



環境省では、2050年カーボンニュートラルの実現に向けた国民運動「デコ活」を展開しています。

釧路市では地域にデコ活を普及させ、脱炭素化をさらに進めるために、釧路町・釧路信用金庫と連携して令和5年12月25日付で一齐にデコ活宣言をしました。宣言後の取組として、三者共催で子育て世代向けのイベントや企業向けのセミナーを開催しました。また、令和5年11月に環境省主催で開催された「デコ活アクション大喜利大会」のアイデア部門において、釧路市×釧路町×釧路信用金庫で応募したデコ活一齐宣言やSNSでの周知活動などのアイデアが環境大臣賞に選ばれました。

今後も釧路地域の脱炭素化意識の向上を進めて参ります。

報告集をご覧ください。日々の暮らしの中でデコ活アクションに取り組み、脱炭素につなげていきましょう！



●環境に関する情報発信について

釧路市環境保全課・環境事業課では、インスタグラムを活用した環境に関する情報発信に取り組んでいます。このエコ・フェア参加報告の場を借りて、公式インスタグラムをご紹介します。



釧路市環境保全課・環境事業課

公式インスタグラム 【@ecocity946】

投稿数：561件

フォロワー：1006人（令和6年12月1日時点）

←シロクマとペンギンたちのアイコンが目印です！



@ECOCITY946

ご家庭で取り組める節電や省エネのことから身近なごみのことまで、環境に関する情報を幅広く発信しています。

気軽に情報に触れることができるので、ぜひ左の二次元コードからアカウントをのぞいてみてください！

くしろエコ・フェア 2024 への参加報告

釧路花くらぶ

SDGs 番号 12: つくる責任 つかう責任



《はじめに》

「くしろエコ・フェア 2024」に、私たち釧路花くらぶはブースを初出展しました。本イベントは自然と人に優しい持続可能な地域社会とはどのようなものか、市民とともに考え、環境活動に触れ、参加するきっかけとなる場です。

私たちのブースでは、「アップサイクルリースづくり」の体験や、活動内容を紹介するパネル展示を通じて、自然素材を活かした持続可能な暮らしの提案を行いました。本報告では、当日の活動内容と成果についてご紹介します。

《活動の内容》

1. アップサイクルリースづくりワークショップ



釧路花くらぶの実習花壇等で育てられた草花を素材として活用し、まずはアート展の装飾に使用しました。装飾後も廃棄せず、さらにアップサイクルの提案として、参加者にリース制作を体験していただきました。

このリースづくりには、自然素材の美しさや再利用の可能性を体験していただける工夫が盛り込まれており、幅広い年代の方が楽しみながら取り組む姿が見られました。「普段使わない自然素材を使った工作が新鮮だった」「家に飾るのが楽しみ」といった声が寄せられ、環境への意識を高めるきっかけにもなりました。



2. パネル展示

釧路花くらの『花学』におけるスキルアップ事業や、釧路市内での花のまちづくりサポート事業の取り組みをパネルで紹介しました。

また、過去の会報も展示し、年ごとに行われた活動の詳細も知っていただくことができました。



特に、学校花壇支援の様子や自主講座のドライフラワーを使った講習会の写真は多くの来場者の関心を集め、「こんな活動をしているのを知らなかった」「次の活動に参加したい」との声が聞かれました。

3. エコクイズラリー出題

展示パネルやワークショップ内容を活用し、来場者が楽しみながら学べる内容としました。「いらなくなったものを工夫して新しいものに生まれ変わらせることをなんというのか？」というアップサイクルに関するクイズを通じて、ワークショップで取り組んだ「アップサイクルリースづくり」の意義や自然素材の活用方法について知っていただきました。

参加者からは、「リースづくりで使われた素材がこういう背景を持っていることを知って驚いた」「リデュース・リユース・リサイクルの他にも、大切に物を使う方法があるんだね」といった声が寄せられ、クイズとワークショップが連携した効果が感じられました。

《今後の展望》

私たちは釧路で花のまちづくりを促進するとともに、釧路市の植花活動をアピールすることにより地域振興を図ることを目的としています。

当日は、来場者の多くが私たちのブースを訪れ、環境保全活動の意義や自然素材を活かす面白さを共有しました。特に、ワークショップに参加された方々の笑顔や作品への満足感は、地域住民と花を通じた交流を深める良い機会となりました。今回の「くしろエコ・フェア 2024」で得た学びや反響を基に、釧路を花で彩る活動の輪をさらに広げていきたいと考えています。

くしろエコ・フェア 2024 への参加報告

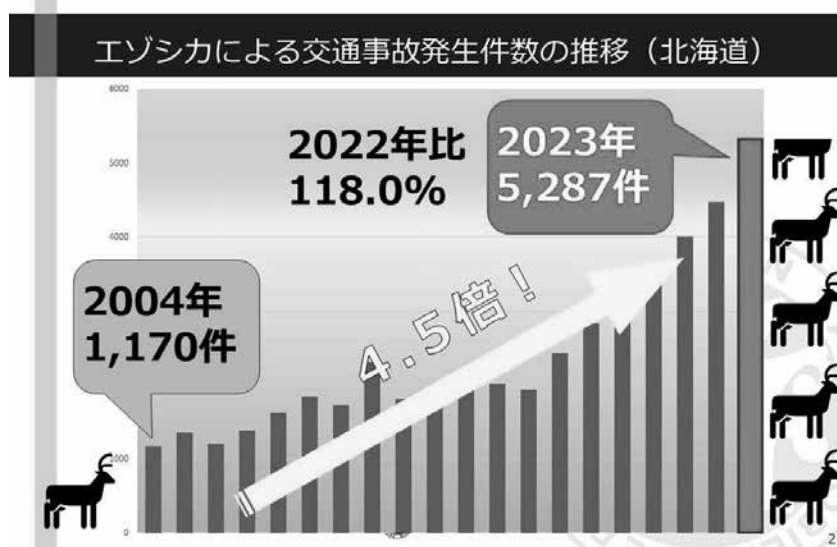
一般社団法人日本自動車連盟（JAF）釧路支部

SDGs：13（気候変動に具体的な対策を）

JAF 釧路支部では、野生動物との衝突防止に取り組んでいます。

エゾシカによる交通事故発生件数はここ数年急増しており、2023 年では前年比 118.0%と収まる気配がありません。（画像 1）

また、エゾシカのほかにも釧路エリアに生息する絶滅危惧種（タンチョウ、エゾフクロウ、オオワシ、オジロワシなど）との衝突事故が増加傾向のため、併せて事故防止策としてスピードダウン啓発を行っています。（画像 2、3）



（画像 1）エゾシカによる交通事故発生件数の推移（北海道）



（画像 2・3）野生動物との事故防止啓発

出展内容としてはこのほか、「JAF エコ・カード」を実施しました。

これはパソコンを使ったシステムで、名前と生年月日、そしてエコ宣言をいくつかの選択肢から選ぶことで名刺大のカード（画像 4）を発行するものです。

「電気をこまめに消す」（節電）を選ぶ方が多いようです。



（画像 4）JAF エコ・カード（サンプル）



（画像 5）ブースの様子

今後も少しでも SDGs 拡大の一助になるべく、努力してまいります。

くしろエコ・フェア 「釧路湿原を未来につなげるナショナルトラスト活動」

NPO 法人トラストサルン釧路

ナショナルトラスト活動という言葉は、初めて知ったという方もいらっしゃるのではないのでしょうか。ナショナルトラスト活動は、市民の皆様から協力を得て、貴重であったり歴史的に意味のある土地や建物を、寄付金で買い取ったり寄贈を受けたりして保存します。土地に関しては可能な限り本来の生態系を保全します。

トラストサルン釧路は、釧路湿原が国立公園に指定された翌年 1988 年に発足し、2000 年に NPO 法人と認定されました。現在の会員数は 200 名です。活動には以下のものがあります。

- ・ 開発規制の弱い湿地、周辺丘陵地にナショナルトラストによる自然保護地をつくり釧路湿原の環境を保全する。
- ・ 荒廃した保護地では森林再生に努める。
- ・ 湿原生態系を守るための調査をする。
- ・ 湿原保護に関する普及啓発を主張する。

釧路湿原は貴重な環境であるにも関わらず、役に立たない土地とされ農地や牧草地、宅地として開発されてきました。

湿原に水を供給する役割をもつ丘陵地は国立公園の指定からはずれ、大規模な森林伐採、人の生活に必要な単一樹種の植樹が行われていきました。

現在では市街化調整区域での大規模ソーラー施設の設置が注目されています。



市街化調整区域は釧路湿原国立公園の南側に広がっていて、キタサンショウウオ、オオジシギなど希少な動物の生息適地であり、開発には慎重な検討が必要となります。湿原に太陽光パネルを設置する場合は、右図のように地表を削り埋め立てることから、湿原の復元は不可能な状態となります。



湿原は特異な環境であり、希少な動植物の生息地です。湿原自体が二酸化炭素を吸収蓄積することで温暖化対策にもなります。多量の水分を含むことで、気温や湿度の変動を抑えます。また治水作用もあり水害を防止するほか、漁業資源の供給、自然体験や観光資源の提供と、人にとっても価値のある土地です。

湿原での開発行為は、生態系に影響を及ぼす乱開発にならないか、慎重に検討する必要があります。

今年度エコ・フェアに参加させていただき、当会のブースで41名の方とお話をすることができました。釧路湿原を大切に思う気持ちをうかがうことができ、我々の活動を継続していく必要性を実感しました。



現在のナショナルトラスト活動の結果

保護地は現在、釧路湿原周辺の湿原や丘陵地に69箇所669ヘクタールとなりました。市民の皆様のご協力と湿原を守りたいという思いが繋がった結果となっています。貴重な釧路湿原を未来につなげるために、我々は活動を継続していきます。

当会は、会員を募集中です。年会費は2000円です。QRコードから当会のサイトを訪れていただければと思います。



<http://trustsarun.life.coocan.jp/>

くしろエコ・フェア2024報告

釧路工業高等専門学校

①『パソコンを使っている人の目と健康を守りたい

「姿勢崩れてますよ！まばたき忘れてますよ！と通知するシステム」

SDGs 番号：3，4，8

現代は幅広い年齢で、パソコンなどの VDT 機器を使う機会が増えています。長時間パソコンを使用しているときには、つい適切ではない姿勢になっていたり、まばたきの回数が減っていたりすることがあります。このような状態が続くと、VDT 症候群と思われる症状が出てしまいます。VDT 症候群は、イライラや不安感などの精神的な苦痛や、肩の凝り腰の痛み、眠れないといった辛い身体症状の他、視力の低下などにもつながります。自分自身で姿勢やまばたきに気を付けるだけでも十分に防ぐことはできるのですが、夢中になっているときには忘れがちになります。そこで釧路高専では、このような問題に取り組むため、パソコン使用時の顔や肩の位置、そして目の周りの情報を使って、姿勢の崩れやまばたきの減少を検知するシステムを開発しています。システムは、警告音やディスプレイの警告表示などで、不適な状態を知らせます。

「みなさんの大切な目と体を守りたい」——そんな想いで作ったシステムを、来場されたみなさま、そして出展者のみなさま、運営事務局の方々に、体験していただきました。みなさまの健康が守られる一助になれば嬉しいです。



「システムを体験してくださっている様子」

②「くしろのカラマツで製作した椅子」

SDGs 番号：11, 12, 15

釧路市は豊かな森林資源を誇る地域です。森林面積は約74%を占めており、約10万ヘクタールが森林に覆われています。しかし、森林都市としてのイメージは少ないのが現状です。そこで、釧路市の木材産業の発展と地産地消の推進を目的に、釧路市で最も生息しているカラマツを使い、身近な場所で木製品を感じることが出来る椅子を製作しました。釧路工業技術センターとの共同制作によるこの椅子は、木の持つ温もりや優しさを感じられる仕上がりになっています。

イベント当日には、来場者の皆さまに椅子に座っていただきアンケートを実施しました。実際に木に触れることで釧路の自然を感じ、木材についても興味を持っていただけたと思います。



「椅子に座ってアンケートに答える来場者」

くしろエコ・フェアを通じて、来場者の方々や他の出展者との交流が生まれ、持続可能な社会を築く大切さを改めて実感しました。また、釧路という地域の魅力を再発見できる、貴重な機会ともなりました。このような場を与えてくださったすべての方々に、心より感謝申し上げます。



「釧路高専の公式マスコットキャラクター、クシローネくん」



くしろエコ・フェア クイズラリー



くしろエコ・フェア 2024 では、昨年に続いて参加型の企画「クイズラリー」を実施しました。

各展示団体さんの掲示物・展示内容からクイズを出していただき、参加していただくと粗品をプレゼントという形で行いました。



クイズラリー問題一覧（★答えは一番最後にあります！）

◆環境省釧路湿原自然保護官事務所

釧路湿原自然再生協議会 再生普及行動計画オフィス

Q1. シマエナガの子育ての特徴は次のうちどれでしょう？

- ① お父さんだけが子育てをする
- ② お母さんだけが子育てをする
- ③ お父さん、お母さんのほかに子育てを手伝うヘルパーがいる

◆釧路市環境保全課

Q2. デコ活アクションで正しいのはどれでしょうか？

- ① 食べ物を残す
- ② 宅配便を一度で受け取る
- ③ 誰もいない部屋でも電気をつける

◆釧路野外教育研究会

Q3. アイヌ民族はオオウバユリをどのように利用していましたか？

- ① 花を飾った
- ② 葉を袋にした
- ③ 根からでんぷんを取った

◆冒険の杜プロジェクト

Q4. この木の年齢は？

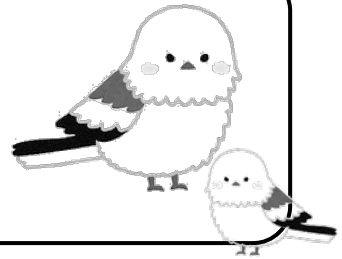
- ① 1年生
- ② 100年生
- ③ 30年生



◆市民フォーラム 946

Q5. アイヌ民族への「差別」を禁止する法令はあるか？

- ①ある、罰則規定もある ②ある、罰則規定はない ③ない



◆海ねこみなと会

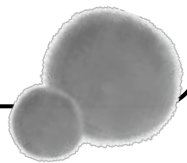
Q6. 少なくとも世界中の森林が貯蔵する量の2倍近くに相当する550ギガトンの炭素が固定されているとされる「泥炭」地さてこの「泥炭」の読みかたは？

- ①どろすみ ②でいすみ ③でいたん

◆釧路ガス株式会社

Q7. エネファームを使うことでどれくらいCO₂を削減する事が出来る？

- ① 0.1t ② 0.5t ③ 1.5t



◆バスから釧路の街を考える会

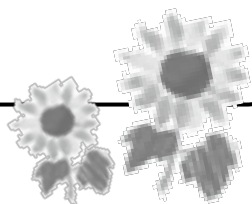
Q8. 「おでかけパスポート 70」は何歳から買うことが出来るでしょうか？

- ①20 歳から ②50 歳から ③70 歳から

◆J A F（一般社団法人日本自動車連盟）

Q9. エゾシカとの衝突事故が多い時期はいつか。

- ①1～3月 ②4～6月 ③10～12月



◆釧路市動物園ツル担当

Q10. タンチョウが保護収容される原因の中で、最近一番多い事故はなんですか？

- ①タンチョウ同士のケンカ ②ネットに絡まる ③交通事故



◆NPO法人トラストサルン釧路

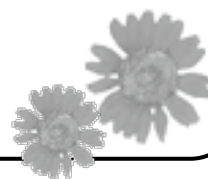
Q11. ナショナルトラスト活動とはなんだろう？

- ①国や市町村が土地や自然を守る ②市民の皆で協力して土地を保護し自然を守る
③寄贈された土地は開発してよい

◆釧路花くらぶ

Q12. いらなくなったものを工夫して、新しいものに生まれ変わらせることを何と言うでしょう？

- ①リサイクル ②リユース ③アップサイクル



「クイズラリーを終えて」

今年は、昨年に続き3回目となる釧路市中央図書館7F多目的ホールと展示室でイベント開催中にクイズラリーを実施しましたが、今年は昨年より応募数も多かったため、親子で各ブースを興味深そうに時間をかけて楽しんでいた参加者が多かった様に思われます。

来年も実施する際は、ぜひよろしくお願いいたします。



★クイズラリーの

解答はこちら→

※逆さまにご覧下さい

01～③お父さん、お母さんのほかに子育てを手伝うヘルパーがいる／
02～②宅配便を一度で受け取る／03～③根からでんぶんを取った／
04～③年生／05～②ある、罰則規定はない／
06～③でいたん／07～③1.5t／08～③70歳から／
09～③10～12月／010～③交通事故／
011～②市民の皆で協力して土地を保護し自然を守る／
012～③アップサイクル



第7回エコポスターコンクール



今年のテーマは「SDGs」～私たちにできること～

●募集要項

ポスター・・・四つ切画用紙使用 一人1点まで
画材、画用紙の縦・横使用は自由

●応募方法

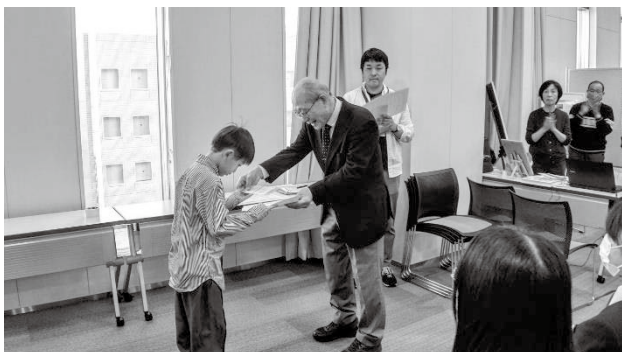
ポスター・・・「エコポスター応募用紙」を作品の裏に添付
学校または直接「釧路市民活動センターわっと」へ提出

●応募期間 2024年7月17日～9月21日

●応募資格 小学生 中学生 高校生 一般

●審査 2024年10月 7日 当会実行委員長および事務局員により
応募総数36点の中から厳正に審査

●発表 2024年10月12日 釧路市民活動センターわっとのホームページ に掲載





エコポスター受賞作品

《 全14作品 》

——【金 賞】——

【大切なちきゅう】

愛国小学校2年 萱野 怜



【銀 賞】



【STOP 温暖化】

鳥取西中学校3年 加藤 彩乃



【海をきれいに大切に】

鳥取中学校1年 角 菜々実

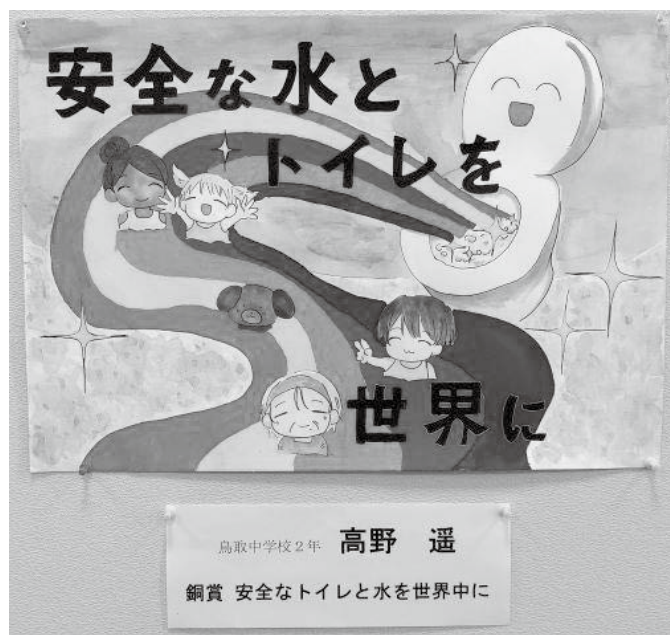
【銅 賞】



【未来のために今できることを】
景雲中学校 1年 黒滝 琴音



【一滴を大切に】
青陵中学校 2年 畠山 結良



【安全なトイレと水を世界中に】
鳥取中学校 2年 高野 遥

【奨励賞】



【エネルギーと自然】
青陵中学校2年 中澤 友里



【人や国の不平等をなくそう】
鳥取中学校1年 佐野 結奈



【ジェンダー平等を実現しよう】
鳥取中学校1年 堀部 咲良

【佳 作】



【みんなの森を大切に】
湖畔小学校 6年 佐々木 悠輔

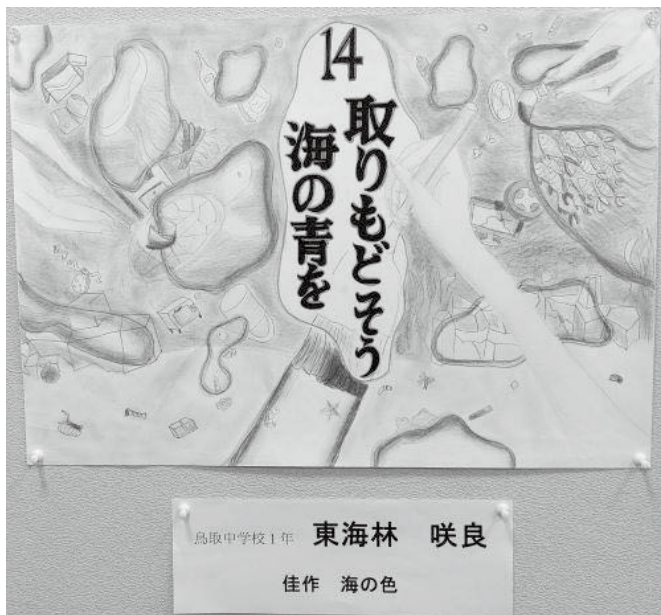


【ポイ捨て禁止! 海を守ろう!】
湖畔小学校 6年 佐々木 美緒



【温暖化対策で地球を守ろう】
鳥取西中学校 3年 石岡 愛琉

【佳 作】



【海の色】

鳥取中学校1年 東海林 咲良



【地球を大切に】

鳥取中学校2年 星野 菜々美





エコポスター受賞応募作品

《 全22作品 》



【つくる責任 つかう責任】
湖畔小学校6年 佐山 結衣



【エコバッグを毎日活用しよう】
鳥取西中学校3年 佐藤 智也



【おかしくなんてない】
鳥取中学校2年 山崎 心優



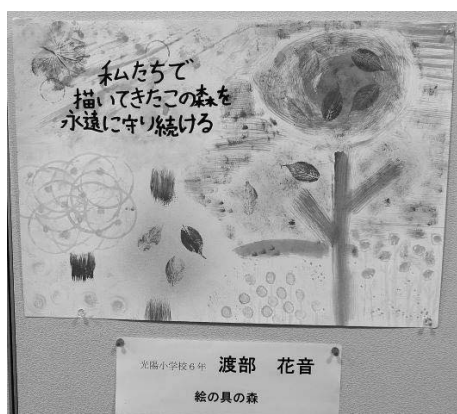
【海の豊かさを守ろう】
鳥取中学校1年 中村 玲奈



【地球温暖化から動物を守ろう！】
愛国小学校2年 笠島 綾人



【世界に豊かなくらしを】
愛国小学校3年 竹内 優菜



【絵の具の森】
光陽小学校6年 渡部 花音



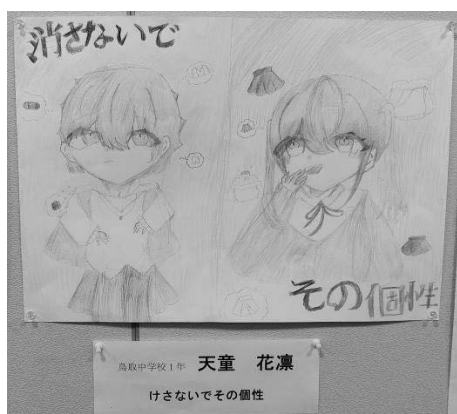
【不平等をなくそう】
鳥取中学校1年 小林 由奈



【ジェンダー平等を実現しよう】
鳥取中学校1年 貝森 那々佳



【ジェンダー平等を実現しよう。】
鳥取中学校1年 山本 鈴夏



【けさないでその個性】
鳥取中学校 1年 天童 花凜



【自然を守って未来につなげよう！】
景雲中学校 2年 笠島 悠愛



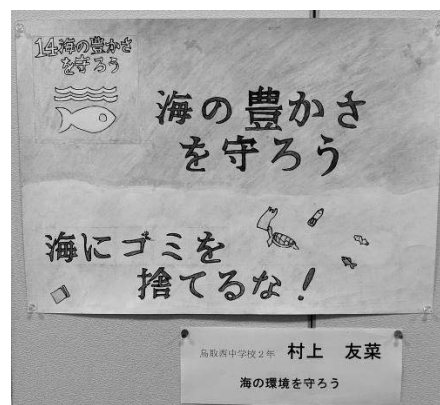
【海の豊かさを守ろう】
鳥取中学校 2年 今部 ひなた



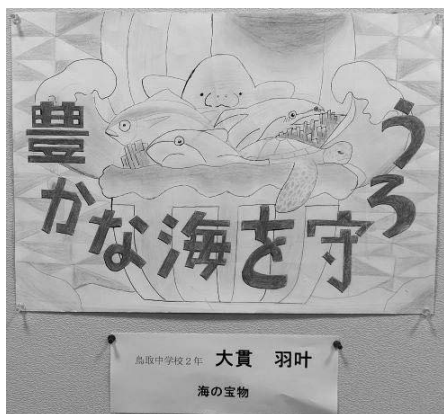
【安全な水を世界中に】
鳥取西中学校 2年 川北 愛優



【パートナーシップで目標を達成しよう】
鳥取西中学校 2年 川本 柚音



【海の環境を守ろう】
鳥取西中学校 2年 村上 友菜



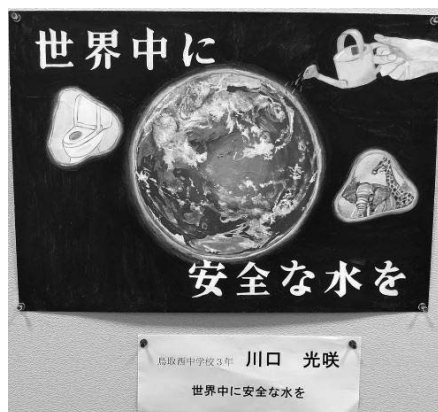
【海の宝物】

鳥取中学校2年 大貫 羽叶



【陸の豊かさを守っていきこう】

鳥取西中学校2年 鈴木 沙羅



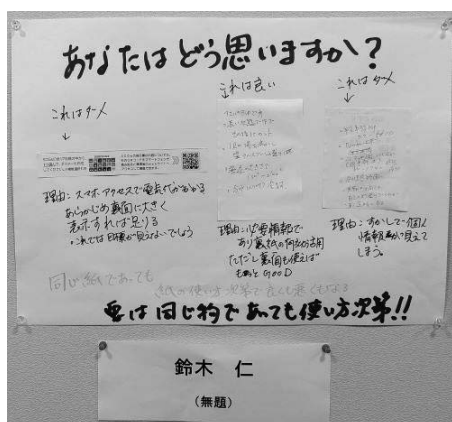
【世界中に安全な水を】

鳥取西中学校3年 川口 光咲



【海をもっと豊かに】

鳥取西中学校3年 田中 千晴



【(無題)】

一般 鈴木 仁



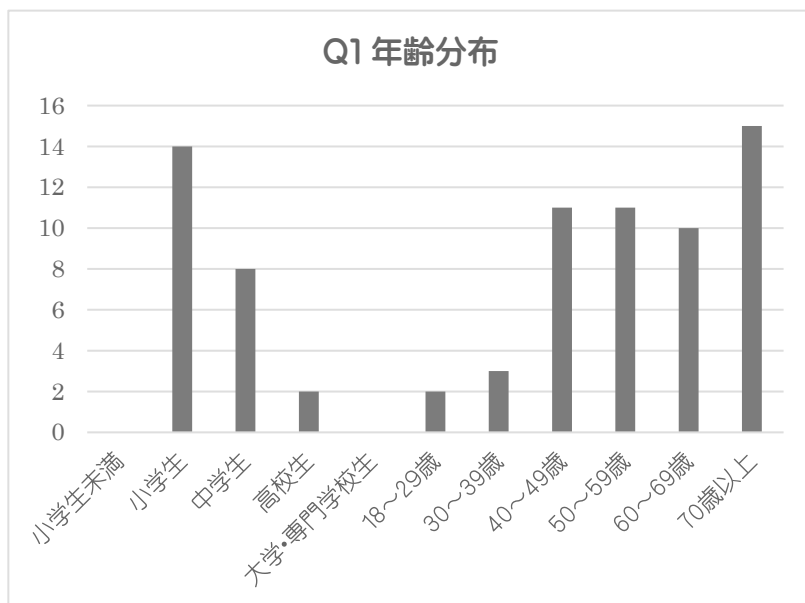
【気づこう、温暖化が
もたらす自然の声】

一般 渡部 靖子

くしろ エコ・フェア2024来場者アンケートの結果と分析

1) 来場者年齢分布

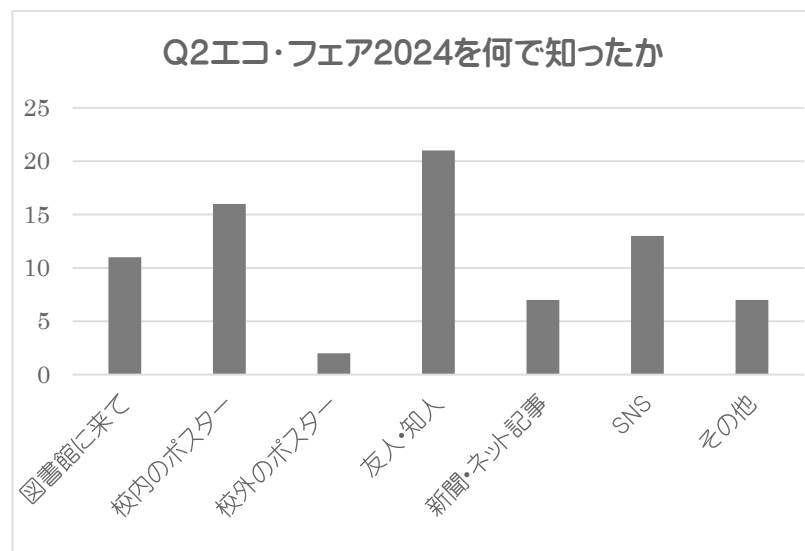
Q1.年齢分布	
小学生未満	0
小学生	14
中学生	8
高校生	2
大学・専門学校生	0
18～29歳	2
30～39歳	3
40～49歳	11
50～59歳	11
60～69歳	9
70歳以上	15



- エコポスターコンクールの授賞式があった為に、受賞者とその家族の来場が多かった事が分布にも影響を与えていると思われる。
- 上記の理由を差し引いても、若者世代の来場者が少ない！若者世代のアンケート回答率が他より悪いという可能性もあるが、体感上も少なく感じた。

2) くしろエコ・フェア2024 を何で知りましたか？（複数回答可）

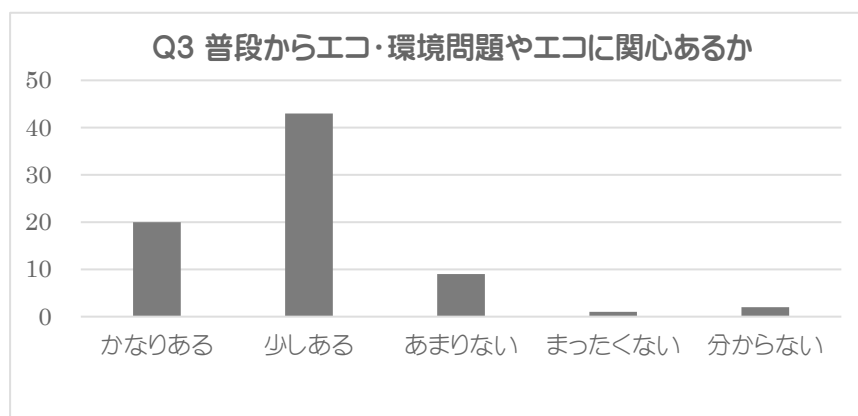
Q2.何で知ったか	
図書館に来て	11
学校内のポスター	16
学校外のポスター	2
友人・知人	21
新聞・ネット記事	7
SNS	13
その他	7



- 『その他』の内容に記載があった回答は全て「家族」となっており、家族メンバーのエコポスターコンクール受賞を機にエコ・フェアを知ったと言う回答もいくつかあった。
- 『友人・知人』の中にも家族が含まれているかもしれない。
- 学校内以外には殆どポスターを貼っていないので『校外』が少ないのは当然だと思われる。
- SNSでの宣伝はそこそこの結果に結びついていることが読み取れる。

3) 普段から環境問題・エコロジーに関心ありますか？

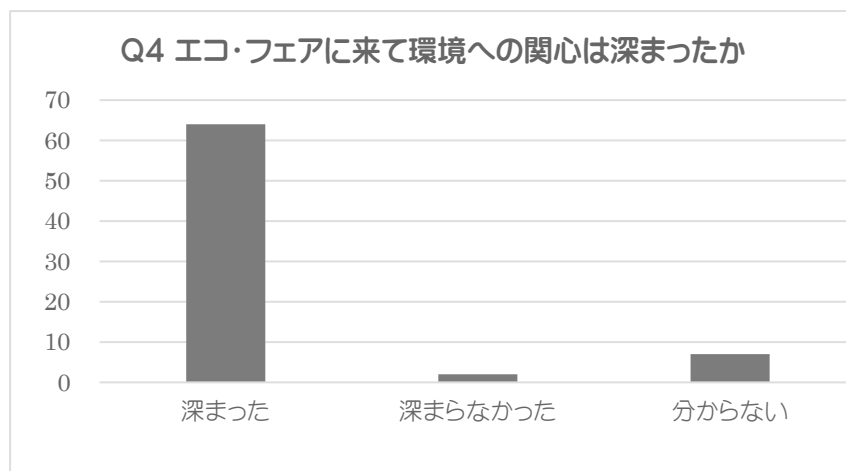
Q3.普段からの関心	
かなりある	20
少しある	43
あまりない	9
まったくない	1
分からない	2



- (予想された結果だが) あまりエコに関心のない人の来場者は少ない。でも、普段からエコにあまり関心のない人にこそ来てもらいたい！

4) エコ・フェアで、環境への関心は深まりましたか？

Q4.関心深まったか	
深まった	64
深まらなかった	2
分からない	7



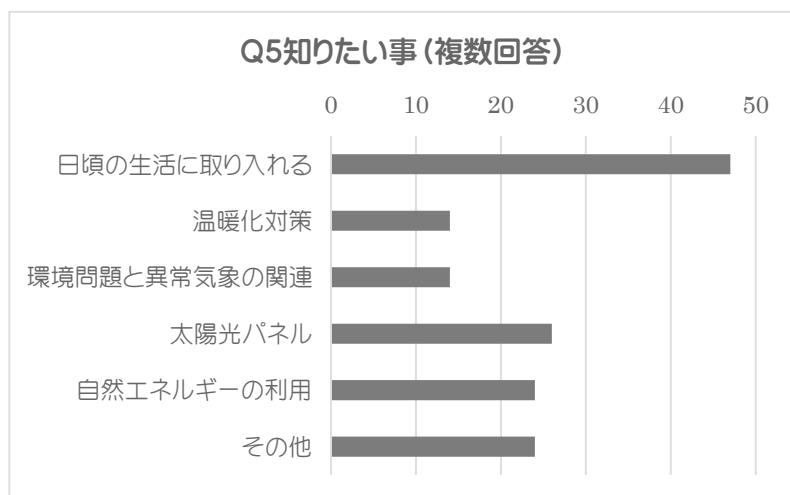
- 殆どの回答者が『関心が深まった』と答えていることから、エコ・フェアは環境への関心をより深める事に役立っていると言えるだろう。
- Q3で普段から環境問題に関心が『あまりない』又は『全くない』を選んだ9人のうち、エコ・フェアで環境に対しての関心が深まったと回答した人が6人いると言う事は、エコ・フェアは環境への関心をもたらし事に一定の貢献をする事が示されている。
- Q3で普段から環境問題に関心が『かなりある』又は『少しある』を選んだ回答者の殆どが、エコ・フェアで関心が(より)深まったと答えている。

Q3&Q4	
Q3 関心ない+Q4 深まった	6
Q3 関心ない+Q4 深まらなかった	1
Q3 関心ない+Q4 分からない	3

Q3&Q4	
Q3 関心ある+Q4 深まった	56
Q3 関心ある+Q4 深まらない	1
Q3 関心ある+Q4 分からない	4

5) エコロジーに関して知りたいことはありますか？（複数回答可）

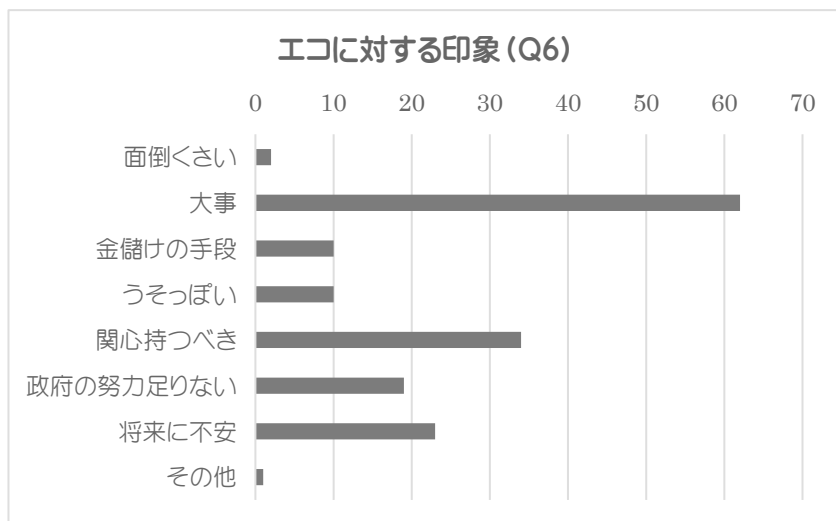
Q5.エコに関して知りたい事	
日頃の生活に取り入れる	46
温暖化対策は必要か？	14
環境問題と異常気象の関連	14
太陽光パネル	26
自然エネルギーの利用	23
その他	23



- Q3で日頃はエコに『関心ない』又は『分からない』を選んだ人の中でも、8名が『日頃の生活に取り入れる方法』を「知りたい事」として選んでいた。
- （「知りたい事」の選択肢の数が少ないのではっきりとは分からないけれど）地球全体の環境に関する事よりも日常生活に近い事をより知りたいという傾向がみられる。

6) 『エコ』に対してどのような印象を持っていますか？（複数回答可）

Q6. エコに対する印象	
面倒くさい	2
大事	61
金儲けの手段	10
うそっぽい	10
関心持つべき	33
政府の努力足りない	19
将来に不安	22
その他	1



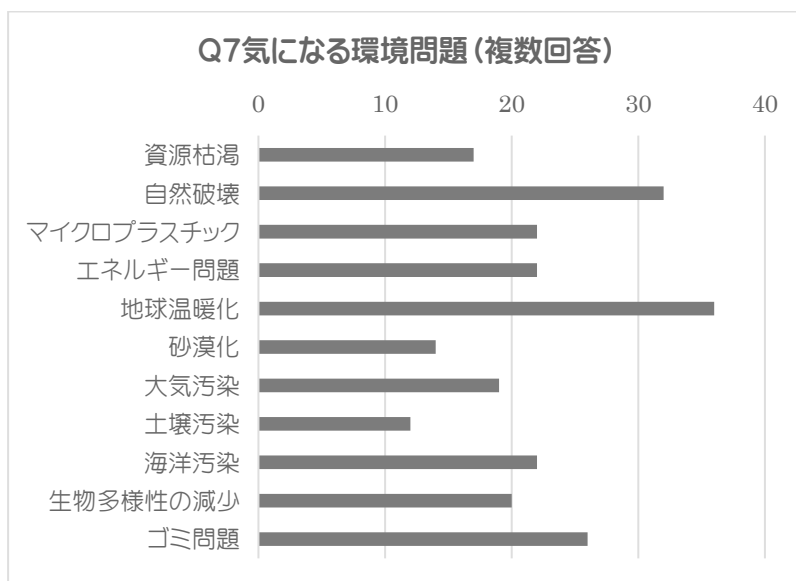
- Q3で環境問題・エコロジーに『関心がない（あまりない+まったくない）』又は『わからない』を選んだ12人の中の9人が「エコ」は『大事』だと答えている。
- エコに対してネガティブな印象を持っている人が「なぜそのような印象を持っているのか」を答えるスペースを回答用紙に作っても良かったかもしれない。

	%
小中高生+不安	12.5%
18～49+不安	25.0%
50以上+不安	44.4%

- 年齢が上がるほどに『自分や地球の将来に不安がある』%も上がる傾向がみられる。未来の時間がより多いはずの若い世代の方が不安をあまり感じていないのは、単に知識が少ないからなのだろうか？

7) 気になる環境問題（複数回答可）

Q7. 気になる環境問題	
資源枯渇	17
自然破壊	32
マイクロプラスチック	22
エネルギー問題	22
地球温暖化	36
砂漠化	14
大気汚染	19
土壌汚染	12
海洋汚染	22
生物多様性の減少	20
ゴミ問題	26



- （実際に調べたわけではないのではっきりとは言えないが）ニュース等でここ数年頻繁に取り上げられている話題（マイクロプラスチック、地球温暖化等）、釧路湿原とメガソーラーの問題（自然破壊）、日常の生活に近い話題（ゴミ問題）などが気になる傾向があるのかもしれない。
- かつての釧路では今よりも「ゴミ問題」が話題になっていたという話があったので、世代別にゴミ問題が気になると答えた割合を調べてみた結果、50歳以上、特に60歳代が多いことが分かり、程度はかつての「ゴミ問題」が回答に影響を与えている可能性があるかもしれない（ただし、アンケートでは釧路在住期間を調べていないので、ゴミ問題が気になると答えた回答者が必ずしもその「かつての釧路」に住んでいたとは限らない）。

ゴミ問題気になる世代別%	
小中高	20.8%
18～49歳	25.0%
50歳以上	47.2%
50代	27.3%
60台	70.0%
70～	46.7%

8) SDGsの17の目標の中で気になる項目（複数回答可）

Q8.気になるSDGs #	
1 貧困をなくそう	3
2 飢餓をゼロに	3
3 すべての人に健康と福祉を	4
4 質の高い教育をみんなに	3
5 ジェンダー平等を実現しよう	8
6 安全な水とトイレを世界中に	3
7 エネルギーをみんなに。そしてクリーンに	3
8 働きがいも経済成長も	2
9 産業と技術革新の基盤を作ろう	3
10 人や国の不平等をなくそう	2
11 住み続けられるまちづくりを	3
12 つくる責任、つかう責任	5
13 気候変動に具体的な対策を	10
14 海の豊かさを守ろう	8
15 陸の豊かさを守ろう	3
16 平和と公正をすべての人に	5
17 パートナリーシップで目標を達成しよう	2



- Q8の回答率は38.2%(29/67)でアンケート中一番低いが、同じ2ページ目にあるQ7の回答率が78.9%(60/76)である事を考えると、単に『2ページ目まで回答するのが面倒だった』又は『アンケートが2ページある事に気づかなかった』という理由は、設問8の回答率の低さの説明にはなりにくいと思われる。

回答率低さの理由の一つは、『SDGsの17の目標項目を調べないと(会場内のポスターやアンケート用紙に貼ったQRコードよりサイトに行く事によって)回答できないので敬遠された(すべての目標項目の知っている人は殆どいないだろう)』ではないかと思う。よって、設問8での回答結果は「SDGsにより興味がある人」による回答の集計に偏っている可能性も高い。

- (回答者の総数(8)が少ないので参考程度ではあるが) 目標5の「ジェンダー平等を実現しよう」が目標14の「海の豊かさを守ろう」と同数2位であることが目立つ。目標5を選んだ回答者の年齢分布を見ると、中学生4名(8人中4人、50%)、40~49歳(11人中1人、9%)、50~59歳(12人中3人、25%)となっていて、中学生のジェンダー平等への注目度が他の世代より高い事がうかがえる。

暮らしと環境考えて

17日、くしろエコ・フェア パネル展や体験コーナー

暮らしと環境について市民

パネル展示や体験を通して
に考えてもらう「くしろエ
コ・フェア2024」SD



来場を呼び掛ける実行委事務局メンバー

Gsの視点から」(同実行委主催)が17日、釧路市中央図書館で開かれる。

当日は釧路市や釧路方面、釧路野外教育研究会などの企業や市民団体など14団体が出展。それぞれの日ごろの活動や自然保護の取り組みをパネル展示で紹介する。体験コーナーでは釧路地域の花のドライフラワーのワークショップや、自然素材を使ったたわしづくり体験などを行う。

会場では市内から一般公募したエコポスターの展示も開かれ、小中学生を中心に集まった36点が並ぶ。午

後1時から入賞作品の表彰式も行う。田丸典彦実行委員長は「コロナ禍で市民活動が低調になり、まだ回復しきっていないところがある。各団体の取り組みを見てもらい市民活動を活気づけるとともに、生活環境と自然環境を結び付けて考え、未来について考える機会にしたい」と話す。

時間は午前10時～午後4時まで。問い合わせは同実行委事務局0154(22)2232(釧路市民活動センターわっと内)へ。

(橋本梓)

環境問題 取り組み紹介

くしろエコ・フェア 制作展示なども

「暮らしと環境」について考え、さまざまな思いを共有する機会として「くしろエコ・フェア2024」(同実行委主催、釧路市教育委員会共催)が17日、釧路市中央図書館で開かれ、環境分野に関わる団体の出展ブースに多くの市民が訪れた。今回は、SDGs(持続

可能な開発目標)に関するエコパネルが展示されたほか、環境問題に取り組む環境省釧路湿原自然保護官事務所や釧路市役所、環境団体などの取り組みが紹介された。

このうち釧路高専は、釧路のカラマツ材で制作した椅子を展示。釧路花くらぶはドライフラワーで作るリース制作のワークショップを行い、釧路市立湖畔小学校5年の坂本梨花さんは「いろいろな花を飾り付けることができました。このリースを自分の家に飾りたい」と話していた。さらに日本自動車連盟(JAF)のブースでは、エゾシカと車両による衝突

事故の実態を報告。「エゾシカの生息数の増加によって標津、浜中、白糠町での

事故が増えている。スピードダウンで事故防止を」と呼び掛けていた。

また、路線バスの利用者拡大に向け、釧路市が高齢者を対象に進めている外出促進バス事業「おでバス」のPRも行われた。

(伊東義晃)



市民に環境問題などの情報が提供された出展団体ブース

湿原の動植物 生態学ぶ

釧路でフェア 市民団体など展示ブース



シマエナガの子育てを表現した模型を見学する来場者

(小川正成撮影)

環境について理解を深める「くしろエコ・フェア2024」(実行委主催、釧路市教委共催)が17日、釧路市中央図書館で開かれた。釧路湿原で暮らす生き物の標本や模型などが展示され、約250人が訪れた。

環境問題などについて語り合える場を作ろうと、2007年から開催。今年はSDGs(持続可能な開発目標)や自然環境をテーマに市民団体や企業などによる13のブースが並んだ。オオルリボシヤンマやシマエナガの標本や模型のほか、ギョウジャニンニクやオオウバユリなどアイヌ民族が利用した野生植物などが展示された。各ブースを回って自然に関する問題に答えるクイズラリーなども行われた。道教大付属釧路義務教育学校7年の新谷優友さん(12)は「タンチョウの卵など、なかなか見られない物を見ることができて楽しかった。釧路の自然のすごさを感じた」と笑顔で話した。

(出原千啓)

くしろエコ・フェア実行委員会の前事務局長の鈴木仁さんが、令和 7 年 1 月 30 日に享年 69 歳で逝去されました。鈴木さんを偲び追悼ページを設けました。心よりご冥福をお祈り申し上げます

「鈴木仁さんの逝去を悼んで」

エコ・フェアの前事務局長の鈴木仁さんが、1 月 30 日に享年 69 歳で逝去されました。未だ多くの力が発揮できる、悔やまれる年齢でのお別れです。

鈴木さんは 2007 年のエコ・フェアの創設時から、フォーラム 946 のメンバーとして毎年展示発表されるとともに、運営面では、エコ・フェアの写真撮影を担当されていました。2019 年に事務局長に就任し、エコ・フェアの牽引役となりました。事務局長として特にご苦労されたのは、コロナ禍を乗り越えたエコ・フェアの再開です。2020 年 1 月にコロナが発生し、多くの市民活動が抑制されました。エコ・フェアも 2020 年、2021 年は開催を控えました。しかし、2022 年になると参加団体からの開催要望と、増大する環境問題の重要性、さらには市民活動の継続性の大切さを考えて再開に踏み切ることになりました。足かけ 3 年間の活動中止は再開に大きな困難を伴いましたが、鈴木さんは事務局長として、運営の基盤である協賛金の依頼では、新規開拓のため飛び込みで企業を訪問し、また、新会場の中央図書館には何度も下見に赴く等開催に強い意欲をもって臨みました。そして「くしろエコ・フェア 2022」を見事成功裏に導きました。

さて、鈴木さんのフォーラム 946 の展示は、大変ユニークで、壁面一杯に文字の多いパネルを張り巡らすのが特徴です。会場では一目で鈴木さんの展示と分かりました。多くの人に見てもらうのも大切ですが、たとえ少数でもしっかりと理解してもらう人を求めている展示です。また、鈴木さんは地球温暖化の CO2 原因説については、小数意見である懐疑論を多く紹介しました。鈴木さんのこのような少数意見の尊重と少数者に対する配慮はとても大切な視点で、私たちも受け継いでいかねばならないと思っています。

鈴木さんは 2023 年春に体調を崩し、事務局長を退いて手術を受けて療養生活に入りました。しかし、闘病 1 年を経ずに帰らぬ人となり、未だ信じられない思いです。今は心からご冥福をお祈りいたします

くしろエコ・フェア 2024 実行委員長 田丸 典彦



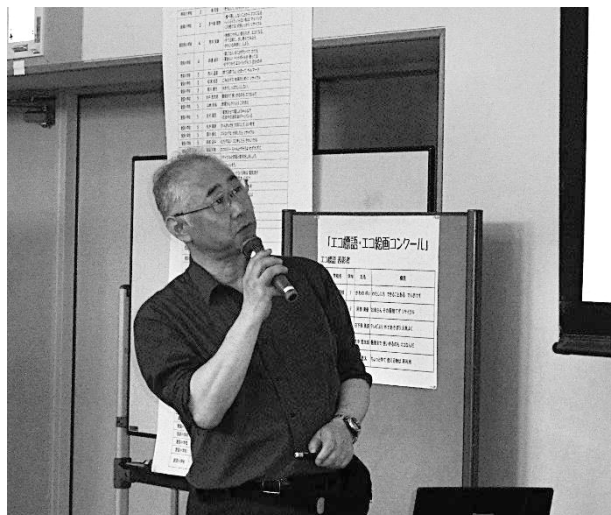
「鈴木仁さんを偲んで」

突然の訃報に接してとても驚いています。鈴木さんとの出会いは、私が2017年に初めてくしろエコ・フェア事業に参加した時からでした。エコ・フェアでは後半の事務局長だった時代に、企業回りや事務手続き等で一生懸命走り回っている姿のイメージが今でも残っています。

今までエコ・フェアを続けてこられたのも、鈴木さんの力が本当に大きかったと思っています。7年ほどの付き合いでしたが、色々お世話になり本当に感謝しています。事務局も体制が変わり、今まさに転換期に差し掛かっていますが、皆で力を合わせてより良い方向に進めるよう頑張っていますので、どうか安心してお休みになられてください。

心よりご冥福をお祈りいたします。

くしろエコ・フェア 2024 実行委員会事務局員 佐藤 陽介



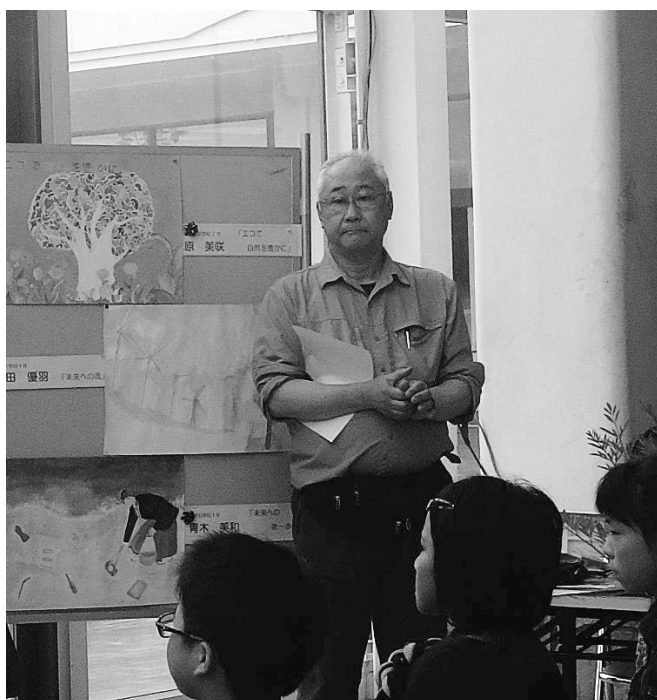
「鈴木仁さんを偲んで」

去る 1 月 30 日、病気療養中だった鈴木 仁さん(前事務局長)が逝去されました。教員時代から環境問題に対する関心が深く、合同教育研究全道集会「環境・公害と食教育」分科会の共同研究者も務められ、「環境通信」を発行するなど、環境問題に対する啓発を継続してこられました。

「くしろエコ・フェア」では、市民フォーラム 946 を代表して、環境問題、地球温暖化問題、公害問題、原発問題、有害物質等の展示を継続され、同時にジャーナリズムの課題(政府や企業に対する忖度など)についても警鐘を打ち鳴らしていました。「くしろエコ・フェア 2023」では、昨今話題になっている PFAS(有機フッ素化合物)流出の問題についても、いち早く問題提起されていました。

「エコ・フェア」の事務局長をされながら、脱原発運動や労働者ユニオンの活動にも携わり、エネルギーに「自分の信念を貫き、自分のペースを大切に」して市民運動に関わってこられた姿が思い出されます・・・療養中にもいくつかアドバイスをいただき、感謝しています。鈴木さんの活動の足跡は、今後も「くしろエコ・フェア」の活動の中に生かされていくに違いありません・・・本当にお疲れ様でした。そして、ありがとうございました。

くしろエコ・フェア 2024 実行委員会事務局員 長根 和人



「鈴木さんを偲んで」

この報告集の作成作業に取り組むさなか、前事務局長の鈴木仁さんが逝去された報を受けた。昨年、私が事務局員として初めて参加したエコ・フェア 2023 では事務局長として長年携わった経験をフルに生かし運営に尽力されている姿を目にした。また出展団体としては市民フォーラム946の担当として硬派なテーマを市民に伝えてらっしゃった。まだまだこれからの活躍が期待された鈴木さんの逝去はただただ残念でならない。図らずもその後任として事務局長の大任に就いたからには少しでもそのあとを追えるようになればと思う。

心よりご冥福をお祈りいたします 合掌

くしろエコ・フェア実行委員会事務局長 上野 岳



くしろエコ・フェア2024

協賛企業・団体様

拓北地下開発株式会社

学校法人ほっかいどう学院くしろせんもんがっこう

株式会社リライアブル

ネイチャーテック釧路株式会社

学校法人緑ヶ岡学園 釧路短期大学

釧路信用組合

独立行政法人国立高等専門学校機構

釧路工業高等専門学校

沢田建設株式会社

大地みらい信用金庫

釧路地方中古自動車販売事業協同組合

岩倉建設株式会社

国立大学法人 北海道教育大学釧路校後援会

釧路ガス株式会社

釧路信用金庫

富士塗研工業有限会社

株式会社 釧路製作所

株式会社 釧路厚生社

コープさっぽろ 釧路地区本部

一般社団法人 日本自動車連盟釧路支部

環境コンサルタント株式会社

株式会社田中組 道東支店 敬称略・順不同

ご協賛ありがとうございました

くしろエコ・フェア2023 ご協賛企業・団体一覧

ありがとうございました



**JAFにはいって
「あんしん」「たのしい」
カーライフ!**

一般社団法人
日本自動車連盟

釧路支部
〒084-0906 釧路市鳥取大通8丁目2-11
TEL.0154-51-2167

JU 釧路 信頼と安心の加盟店へ

**釧路地方中古自動車販売協会
釧路地方中古自動車販売事業組合**

会長・理事長 高橋 成人
釧路市新野7線147番地4 ☎代57-9111

文部科学大臣指定・厚生労働大臣指定
公益財団法人 日本障がい者スポーツ協会公認
障がい者スポーツ指導者(初級)資格取得認定校

学校法人 ほっかいどう学院
くしろせんもん学校
Kushiro special school

こども環境科・介護環境科

〒084-0910 釧路市昭和中央2丁目7番3号
TEL: 0154-51-3195 FAX: 0154-53-3746




ネイチャーテック釧路株式会社

代表取締役 **東 陽 一**
youichi azuma

〒084-0913
釧路市星が浦南6丁目6番13号
TEL 0154-57-7766・FAX 0154-57-7768
携帯 090-8273-4141
Email: natec@biscuit.ocn.ne.jp

(再生紙使用)

まだ知らない私の「好き」がここにある。

Coach&Four
全国最大級の
靴店

コーチャンフォー釧路店
釧路市春採7丁目1番24号 tel.0154-46-7777
<http://www.coachandfour.ne.jp>

【コーチャンフォーグループ】運動公園通り店 釧路町桂木3丁目



K 環境コンサルタント株式会社

代表取締役
濱口 憲太

【SDGs宣言】
当社は国連が提唱する「持続可能な開発目的(SDGs)」に賛同し、
持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

〒085-0016 釧路市錦町5丁目3番地
TEL:0154-31-0311 FAX:0154-40-3754
<http://www.kankyocon.co.jp>

本社事業部/〒088-0606 釧路郡釧路町中央6丁目15番地2



リサイクル
循環型社会を応援します!!



株式会社 **釧路厚生社**

代表取締役会長 中山 勝範
代表取締役社長 福田 雅嘉



〒088-0605

釧路郡釧路町別保原野南21線46番地20

TEL 0154-40-2983 FAX 0154-40-2289

URL <http://www.k-kouseisya.co.jp>

みちかなふれあい
釧路信用金庫

理事長 森村 好幸

〒085-0015 釧路市北大通8丁目2番地 TEL(0154)23-0111

いつまでも 地域とともに
しんくみ

釧路信用組合

理事長 忠村 浩志

釧路市北大通9丁目2番地 TEL(代)22-3161

<http://www.kushiro.shinkumi.jp>



株式会社 **釧路製作所**



ClassNK
ISO 9001

代表取締役社長 羽 笏 洋

Ushuu

Hiroshi



〒085-0003 釧路市川北町9番19号

TEL (0154) 22-7135 FAX (0154) 22-9680

E-mail: h-usyuu@kushiro-ses.co.jp

URL <http://www.kushiro-ses.co.jp>

RE100

地域の皆さまとともに、豊かな未来を創造します。

大地みらい信用金庫

理事長 伊藤 哲也
釧路支店長 田坂 渉

<https://www.daichimirai.co.jp>



土質・地質総合コンサルタント

拓北地下開発株式会社

代表取締役 田中 卓

〒084-0913 釧路市星が浦南1丁目3番7号

TEL(0154)51-4711(代) FAX(0154)55-2200



沢田建設株式会社

☎085-0058 釧路市愛国東1丁目1番16号

電話 (0154) 36-1965番(代表)

FAX (0154) 36-1366番



富士塗研興業 Fujitokenkogyo Co.,Ltd
有限会社

代表取締役 森 圭一郎
MORI KEIICHIRO

〒084-0924

釧路市錦野58番地1700 TEL:0154-51-0521 FAX:0154-51-1057

E-mail: fujitokenkogyo@purple.plala.or.jp 携帯電話:080-3291-6225

コープさっぽろ 釧路地区本部

① 岩倉建設株式会社

代表取締役社長 鈴木 泰 至

本 社 札幌市中央区南1条西7丁目16番2
Tel (011) 281-6000

釧路営業所 釧路市鳥取南7丁目1番10号
Tel (0154) 51-3673



日本最東端から、“光”を発信。

北海道教育大学釧路校

〒085-8580 釧路市城山1丁目15番55号
<https://www.hokkyodai.ac.jp/kus>

地域に密着した総合教育

学校法人 緑ヶ岡学園



- 釧路短期大学
- 認定こども園
- 釧路短期大学附属幼稚園
- 武修館高等学校
- 武修館中学校

釧路市緑ヶ岡1丁目10番42号 Tel 0154 (41) 0131 (代)
<http://www.midorigaoka.ac.jp>

執行役員
支店長

今 野 肇

株式会社 田中組 道東支店

支店 085-0008 釧路市入江町五番十六号
電話 〇五五(二一七)一七七番
FAX 〇五五(二一七)一七九番

未来を待つな、

未来を創ろう

公式マスコット
キャラクター
クシローネ



詳細は釧路高专で検索！！



独立行政法人 国立高等専門学校機構

釧路市大栗毛西2丁目3番1号

釧路工業高等専門学校

TEL : 0154-57-8041
FAX : 0154-57-5360

釧路ガスのずんきはじめました！

安心・安全・エコライフ



釧路ガス

ECOジョブ
ガススマート！

Tel 0154-22-8101

住所／釧路市寿4丁目1-2
Q 釧路ガス 検索



くしろエコ・フェア2024 事務局業務の流れ

2024年	3月	28日 くしろエコ・フェア2024事務局会議①
	4月	17日 くしろエコ・フェア2024事務局会議②
	4月	27日 講演会「わくわく講演会シカとのウまい付き合い方」名義後援
	6月	5日 くしろエコ・フェア2024事務局会議③
	6月	24日 教頭会資料準備
	6月	26日 教頭会参加（くしろエコ・フェア2024協力依頼）
	7月	3日 くしろエコ・フェア2024事務局会議④
	7月	10日 くしろエコ・フェア2024実行委員会①
	8月	28日 くしろエコ・フェア2024事務局会議⑤
	8月	30・31日 協賛協力依頼訪問
	9月	25日 くしろエコ・フェア2024事務局会議⑥
	10月	7日 エコポスターコンクール選考会
	10月	16日 くしろエコ・フェア2024事務局会議⑦
	10月	20日 釧路市中央図書館 会場事前調査
	10月	30日 くしろエコ・フェア2024事務局会議⑧
	10月	30日 釧路しんきん地域貢献表彰申請書提出
	11月	1日 くしろエコ・フェア2024実行委員会②
	11月	11日 釧路市公式ラインでのエコ・フェア2024広報
	11月	16日 前日会場設営
	11月	17日 くしろエコ・フェア2024開催
○開催場所 釧路市中央図書館 7F多目的ホール・展示室		
	11月	21日～28日 エコポスター作品のわっとギャラリースペースでの展示
	11月	21日 くしろエコ・フェア2024事務局会議⑨
	12月	4日 くしろエコ・フェア2024事務局会議⑩
2025年	1月	19日 くしろエコ・フェア2024事務局会議⑪
	2月	19日 くしろエコ・フェア2024事務局会議⑫
	2月	26日 くしろエコ・フェア2024実行委員会③
	2月	末日 くしろエコ・フェア2024報告集完成（予定）

『くしろエコ・フェア』実行委員会規約

1 名称

この会は『くしろエコ・フェア実行委員会』と称し、事務所を釧路市民活動センターわっと内に置く。

2 目的

この会は環境に関心のある様々な団体・個人が集い、くらしと環境について考える場を共有し、次世代によりよい環境を伝えることを目的とする。

3 構成

この会に代表者1名、副代表2名、事務局長、会計、監事2名を置く。

代表は実行委員会の運営を統括し、副代表は代表を補佐する。

事務局長は運営全般及び実行委員会の活動に関する事務を行う。

会計は実行委員会の活動に伴って発生する会計についての事務を行う。

監事は会計及び業務監査を行う。

4 経費

実行委員会の活動に要する経費は、参加団体・個人が負担する。

5 その他

この規約に定めるものの他、必要事項は、実行委員会に於いて決定する。

<付則>

この規約は2007年3月28日より施行する。

この規約は2011年8月8日より施行する。

この規約は2012年4月7日より施行する。

あ と が き

新型コロナによる中断から再開し、会場が釧路市中央図書館になってから三回目となる「くしろエコ・フェア 2024」の開催でした。当日は、天候に恵まれず一般参加者の来訪が懸念されましたが、およそ 250 名もの方々にご参加いただき、会場也大いに盛り上がりました。

エコ・フェア 2024 は、昨年と同様、「SDGs の視点から」と題して開催しましたが、出展団体は 14 団体となり、新たに「釧路工業高等専門学校」「釧路花くらぶ」「トラストサルン釧路」の 3 団体が加わってのブース出展となり、少しずつ活動の「輪」が広がっていることが感じられます。そして、例年好評をいただいている「エコ・クイズラリー」を今回も実施し、参加者の方々は、ほぼ全ての出展をご覧いただけたようです。当日の一般参加者のアンケートをみると、「環境問題・エコロジー」等に関心をもっている方々の参加が多かったようですが、ほとんどの方が、エコ・フェアをきっかけに「さらに環境への関心が高まった」と回答いただいていることから、エコ・フェア開催の意義や効果等について再確認することができました。

また、例年実施している「エコ・ポスター」コンクールでは、テーマを SDGs 全般に広げて募集しましたが、昨年の応募数(14 作品)から大幅に増え(36 作品)、実行委員会においても嬉しい驚きの声が上がりました。テーマについても、「環境・エネルギー・温暖化」問題等はもちろんのこと、「ジェンダー平等」「差別・不平等」「パートナーシップ」等の課題について扱ったポスターもあり、子どもたちの SDGs のテーマに対する関心の広がりが感じられるポスターコンクールになりました。・・・ポスターコンクールに応募いただいた皆さん、そして、子どもたちの応募を支えていただいた市内小中学校関係者の皆様、ご家族の皆様に感謝いたします。

昨今、各団体の高齢化・少人数化、若い世代の社会活動への参加の低迷などの課題もありますが、「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」の目標(SDGs)達成に向けて、「くしろエコ・フェア」の活動も、微力ながらその一助となれればと考えます。今後も活動の趣旨をご理解いただき、より活動が広がり、充実するよう声かけ、ご協力いただければ幸いです。

最後になりますが、快く出展に尽力いただいた出展団体関係者の皆さん、共催としてご協力いただきました釧路市教育委員会様、開催会場の設営等にご協力いただいた釧路市中央図書館職員の皆様に感謝申し上げます。さらに、協賛企業・団体の皆様方からの協賛金、北海道青少年育成協会様の基金運用交付金、イオン釧路昭和店様の「イオン幸せの黄色いレシート」(毎月 11 日)による寄付金などのご協力を得まして、開催を成功させることができましたことを、重ねてお礼申し上げます。

くしろエコ・フェア 2024 実行委員会 事務局担当 長根 和人